特記仕様書

工事名称 小西住宅 4 号棟外壁等改修工事

工事場所 三原市西野四丁目

工事内容 次のとおり、小西住宅4号棟及び集会所等の改修工事を行う。

- •外壁改修工事
- •屋根改修工事
- •樋改修工事
- •防水改修工事

準 則 公共建築工事標準仕様書(平成31年版),公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版), 建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)に基づき施工する。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ·建築基準法, 同施行令, 同施行規則
- •建設業法
- •消防法, 同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律,同法施行令,同法施行規則
- •労働安全衛生法,同法施行令,同法施行規則
- •建設工事公衆災害防止対策要綱
- •石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法,振動規制法及び土壌汚染対策法
- •その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の大要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも 完全に施工すること。

施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類

施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。

エ 期 本工事は請負契約締結の後,令和3年3月22日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

留意事項

- ・入札に先立ち現地調査を十分に行うこと。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて住民等の通路の制限を行う。ただし、事前に施設 管理者及び住民等へ説明を行い、承諾を得るものとする。
- ・解体工事及びアンカー工事等の騒音,振動及び粉塵等の発生が予想される工程については,施工時間及び施工方法等,住民へ最大限配慮した計画のもと行うこと。
- ・工事期間中, 南側(バルコニー側)の工事については, 窓の開放, 洗濯及び物干し等の使用を制限するため, 可能な限り短期間で工事を完了させること。また, 同箇所の足場も撤去すること。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音、振動及び粉塵等の対策については最大限配慮した 施工方法を採用すること。
- ・工事用出入り口には必要に応じて誘導員を配置すること。
- ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。

- ・工事中に粉塵の発生が予想される工種については、周辺の環境対策のため散水を確実に行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を 設置すること。
- ・施工箇所周囲の備品、機器等については、養生及び清掃等を確実に行うこと。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。
- ・受注者事務所,休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・発注者と共に当該住宅の住民に対して工事説明会を開催し、その説明会の後に工事を開始すること。
- ・台風等の強風が見込まれる場合,事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。

小西住宅4号棟外壁等改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺
A-01	タイトル、図面リスト		A-21	(4号棟) 矩計図	1/30
A-02	建築改修工事特記仕様書 (1)		A-22	(4号棟) 階段詳細図	1/30
A-03	建築改修工事特記仕様書 (2)		A-23	(4-1号棟、4-2号棟) 建具配置図、建具表	1/200 1/50
A-04	建築改修工事特記仕様書 (3)		A-24	(4号棟)隔て板、バルコニー手すり、窓手すり、物干金物、室名札 詳細図	1/20 1/10 1/5
A-05	建築改修工事特配仕様書(4)		A-25	(4号棟) (改修前・後)屋根断面詳細図	1/30
A-06	建築改修工事特記仕様書(5)		A-26	(4号棟) (改修前)屋根部分詳細図	1/5 1/20
A-07	外壁改修工事特記仕様書(1)		A-27	(4号棟) (改修後)屋根部分詳細図	1/5 1/20
A-08	外壁改修工事特記仕様書 (2)		A-28	(集会所) 平面図、建具表	1/100 1/50
A-09	付近見取図、配置図、工事概要	1/500	A-29	(集会所) (改修前・後) 屋根伏図	1/100
A-10	外部仕上表		A-30	(集会所) 立面図	1/100
A-11	(4-1号棟) 1階平面図	1/100	A-31	(集会所) (改修前) 矩計図、玄関廻り断面詳細図、(改修後) 屋根部分詳細図	1/50 1/5
A-12	(4-1号棟) 2・3・4階平面図	1/100	A-32	(集会所)(改修後)矩計図、玄関廻り断面詳細図	1/50
A-13	(4-1号棟) 屋根伏図	1/100	A-33	(物置 1 6 戸用) 平面図、屋根伏図、立面図、側面図	1/50
A-14	(4-2号棟) 1 階平面図	1/100	A-34	(物置12戸用)平面図、屋根伏図、立面図、側面図、断面詳細図	1/50
A-15	(4-2号棟) 2・3階平面図	1/100	A-35	(自転車置場) 平面図、立面図、詳細図	1/50
A-16	(4-2号棟) 屋根伏図	1/100	A-36	仮設計画図 (参考図)	1/500
A-17	(4-1号棟) 南側、北側立面図	1/100			
A-18	(4-1号棟) 東側、西側立面図	1/100			
A-19	(4-2号棟) 南側、北側立面図	1/100			
A-20	(4-2号棟) 東側、西側立面図	1/100			

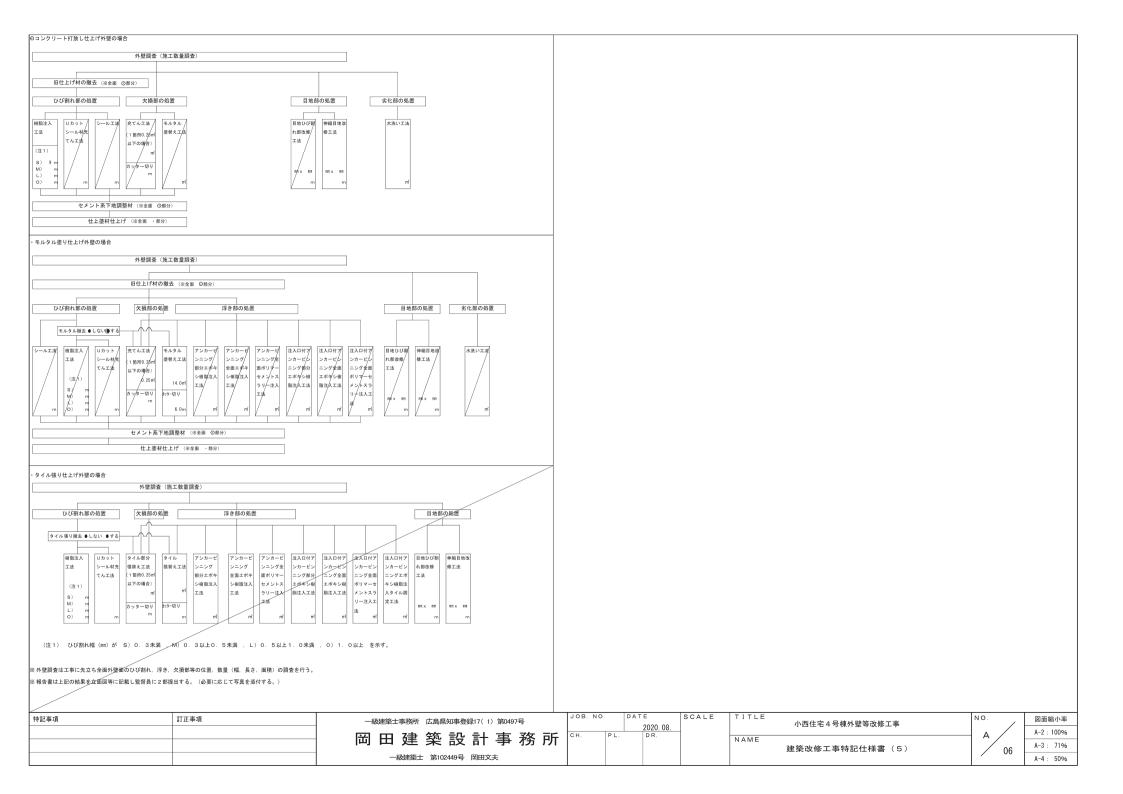
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号	JOB. NO.	DAT	E 2020. 08.	SCALE	TITLE	小西住宅 4 号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率
		岡田建築設計事務所	CH.		DR.		NAME		A /	A-2 : 100% A-3 : 71%
		一級建築士 第102449号 岡田文夫						タイトル、図面リスト	/ 01	A-4 : 50%

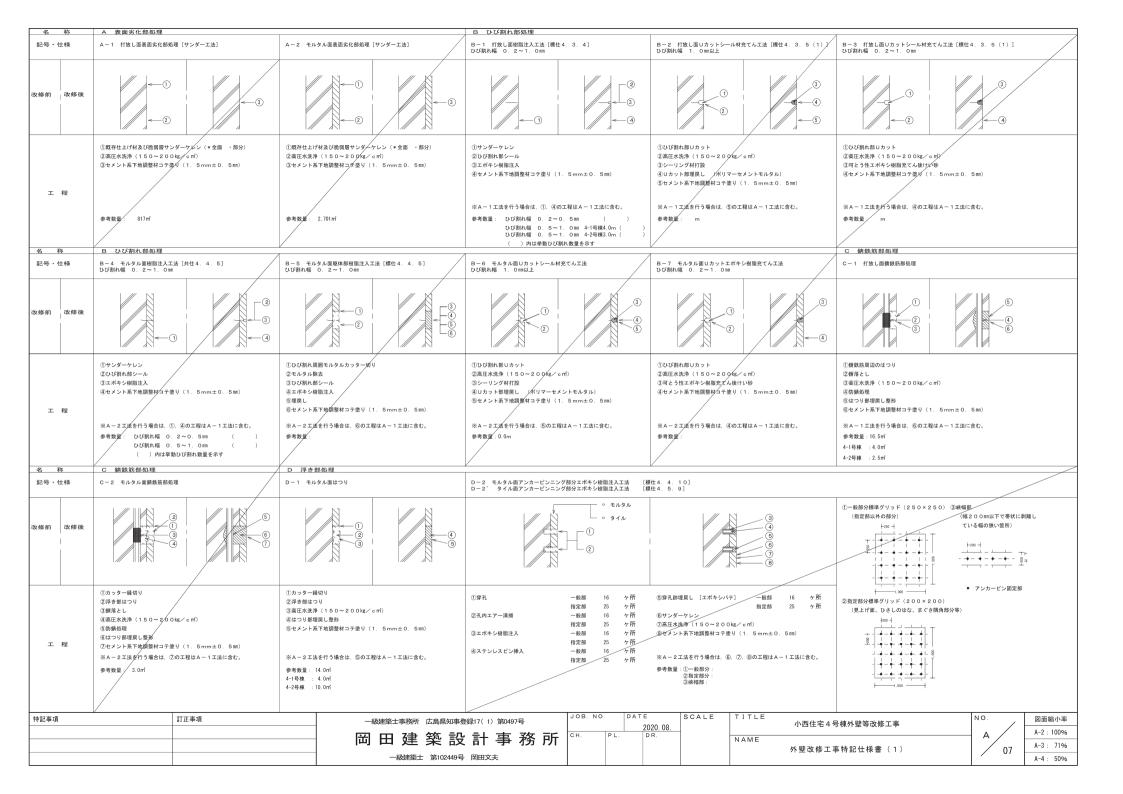
5. 3 4. 4 5. 3 6. 5 7. 1 (1) (2) (3) (44 8. 4 (1) (9. 3) 1 10. (1)	三原市西 製造 規模 ・ 1 日本 ・ 1 日本	数筋コンクリート造 3 開達で 数筋コンクリート造 4 開達で 数筋コンクリート造 4 開達で が筋コンクリート造 4 開達で が筋コンクリート造 4 開達で は本、定様改修工事、福安修工事 (の課を行うため、発注を1 半週末の (の課を分の上の 4 開達の 4 円間 (現実)・一間運搬場の 7 円間 (現実)・一間運搬場の 7 円間 (現実)・一間運搬場の 7 円間 (現実)・一間運搬場の 7 円間 (の理解を1 年に 20 分間 (の理解を1 年に 20 分間 (のまた)	正 一部制: 148,00mf 正 不面積19,05mf 正 不面積199,57mf 正 本情的水改修工事 対応すること。 設定第次の協力等) 並びに返馬を助止するために必要な指置をとること 日付、原因事項水管温度)」に基づき実施することと 有する業者に発注するものとし、予め購入先の各称 いこと を第三番に関け負わせようとする場合は、原則として 官房質性変越針数と「公共製造水製工事構度仕样響	(a) (b) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d		製出機所 ・	次の公司領すで尋求地に搬出するものとする 「知識を主要のかー作品」に確認しましている意識のい をという。 「知識のでは、「知識のない」」 「知識のない」 「知述のない」 「知述のない、「知述のない」 「知述のない」 「知述のない、「知述のない」 「知述のない、	一般共通事項	4 化中物环心测度测定 (1. 6. 6) 中枢技术的独立 (1. 7. 6. 6) 中枢技术的独立 (1. 7. 2) 少工年写其等	(1) 顕常した室のボルムアルデヒド・トルエン・ 度を恵とし、現生労働省が区から計算性は、 は、現生労働省が関係し、他ご力は加速を の 10 つかでは、 10 のでは、	であることを認じ、監督前に 村田県一定の 「東京、戸し入れ等の収納信分が 「東京、戸し入れ等の収納信分が 「東京、戸し入れ等の収納信分が こち時間が終する。 こち時間が終する。 こちられています。 こちられています。 こちられています。 「あっちいます」。 「おりいます。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます」。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいます。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「おっちいまする。 「ちっちいまする。 「ちっちいまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなまする。 「ちっなままなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまな	報告する 「在行う 「在行う 」 「正確ない」 「一点のは一点のは、「一点のは一点のは、「一点のは一点のは、「一点のは一点のは、「一点のは、「一点のは、「一点のは、「一点のない」 「一点のない」 「一	②	②新型学品の解放 ○ 別談書学品 ○ 別談書学品 ○ 別談書学品 ○ 日本 ○ 別談書書 ○ 日本 ○	関する基本における2の位 (個は2、足機模等 (個は2・20年 1・ 関連 (個は2・20年 1・ 関連 (個は2・20年 1・ 関連 (個は2・20年 1・ 関連 (個は2・20年 1・ 関連 (個は2・20年 1・ 関連 (個は2・20年 1・ 関連 (国は2・20年 1・ 同じ (国は2・20年 1・ 同じ (国は	平 9 帰還き方式又G(3) 平・) ・ 診理しない) ・ 診理しない) ・ 診理しない) ・ ・	
	〇附と ③ 印のづい (3) 項目に記載 []。 () の内表示番 (4) 工事終工上必要な育 (5) 類核法の放正等に ついて、繁替員と協	いたものを選挙する は、※側のついたものを適用する いた場合は共工適用する の内実を寄与し、改造機能性技術の当該項 特別は、標準化性器の当該項上 が対し、では、対象を がある。 が、 が、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	協能を参介。 注意の負担において選挙権(行うこと 他年る恐れがあることを認識した場合には、その対応等に	② M和の [1.	品質等 4.2~5]	を有するものとする (2) 側角側に関係された材料に 用する場合は整質度の承託を受ける (3) 様本工程等に変更されてが対する (4) 本工事に使用する材料のうち、(c) 満たすものとし、その証明となる (立 保証を定せたものととする) (1) 仮変えが知此間する経験で一分を 全産機能及が最の関係を参加する (2) 企業を対して、企業を (4) 人工事業を (4) 人工事業を (4) 人工事業を (4) 人工事業を (4) 人工事業を (5) 人工事業を (5) 人工事業を (6)	別な材料の工能については、材料製造所の指定する工法 5) に指定する材料の進速業等等は、次の②一・恋の事項 現代・分部機関が発行する延用線の写り、記を目録に認 対し、あらかにの監算員の承諾を受けた場合はこの限りで 影響していること つていること 立ていること 立なれること	:		(1) 工作等項 工作の選挙に利い工事会体状況及び主要工程の等 他に掛けるものとする (1) 出付けるものとする (1) 元本の主要を ないこの発展するものとする (2) 元本の主要 (2) 元本の主要 (3) 元本の主要 (3) 元本の主要 (3) 元本の主要 (4) 元本の主要 (4) 元本の主要 (4) 元本の主要 (4) 元本の主要 (4) 元本の主要 (4) 元本の主要 (4) 元本の主要 (4) 元本の主要 (5) 元本の主要 (6) 元本の主要 (6	・総から検査・確認する事が出ま (株/カラー・サービス級)にま (内/その性監督員が指示する個別 部 ・ A 4 様写真も様 ・ 自負の他所により工事名称等を目 (集者) ・ 他工後の写真(カラー・牛々	たなくなる部分、及 たとめて完成検査日 有 日 中字すること)	(3) は入口優生 9 セキュリティー設備 (1) 又連誘帝員 (2) ス連誘帝員 (3) 1 無所等に対する 乗生力と	製集の美やサンビ型には質算が開発する。 地工事を今の表示者(900mm × 000mm) 総行う(ペーヤラ 配置的の取り外し、取り付けを行う 形配面する・配置しない を避け面 ・実力を取り ・大力事用限入時 ・実力を取り ・のであり	工事職要等の説明看板(900s	я × 600ше)	
一般共通事項 2 3 4	項 目	○外担整交換工事工事理學性報書 ○の教工事工事理學性報書 (○教工事工事理學性報書 (○教工事工事理學性報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	製造製品を設定しています。 (広島県土木局等定) 南金質部内に温度医療性 (広島県土木局等定) 南金質部が5 9 0 万円以上の工事について、工事実践情報を 変更 様工 打正所に工事実制情報をして 変更 様工 打正所に工事実制情報をして ・ 変更 様工 打正所に工事実制を登める変な場合と ・ 場合とする。 ・) ・) ・) ・ 管質員と協議の上決定) ・) ・ としていまり、 ・ 一 ・ としていまり、 ・ にあった。 ・ としていまり、 ・ にあった。 ・ としていまり、 ・ にあった。 ・ としていまり、 ・ にあった。 ・ としていまり、 ・ こまつき作り、 ・ こまつき作り、 ・ こまつき作り、 ・ こまつき作り、 ・ こまつき作り、 ・ こまつきにより、 ・ こまつまして、 ・ こまつきにより、 ・ こまっとなり、 ・ こまっとなり、 ・ こまっとなり、 ・ こまっとなり、 ・ これではまり、 ・ これではまり	(金) 特別() 版工 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	5. 2]oための破壊部分の5. 3]	れ及び両瀬りの有無についての位置及び数量 屋根調査は既存の防水層、シーリング材充却	 C. E. 200 を任務 オーペーペッドドア あた利 カルーペッドドア カルーペッドドア カルーペッドドア カルーペッド・アット オーペーペッド・アット オーペーペッド オーペーペット オーペーペット オーペーペット カルーペット カルーペ		東子納品 東子納品 東子納品 東子納品 東子納品 東子納品 東子納品 東正面及び珠工計画書 東正面及び珠工計画書 東正面及び珠工計画書 東正面及び珠工計画書 東正面及び珠工計画書 東正面及び珠工計画書 東正面及び珠工計画書 東正面及び珠工計画書 東京都の助止 東京都の助止 東京和の助止 東京和の助生 東京和の助生	工事等級のキガ・データは、受生物に加て工事 「無理しまする」の必要。 「最近、単上のレングゲーバーの 「現立、「最越、※ レーレングゲーバーの 「現立、「最越、※ レーレングゲーバーの 「現立、「最越、※ レーレングゲーバーの 「現立、「最越、※ レーレングゲーバーの 「現立、「最越、※ レーレングゲーバーの 「現立、「最越、※ レーレングゲーバーの 「の地域に関係して、「現立、「はないでは、「はないでは、 「ないでは、「はないでは、「ないでは、「はないでは、「ないでは、「はないでは、 「現立・日本のでは、「はないでは、「ないでは、ないでは、「ないでは、ないでは、「ないでは、ないでは、「ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	下面)) フー報 1・会とに関する資産で必要なと 加入て電子採集品を 2番短地 は物で使用する部科・機器を1 接物で使用する部科・機器を1 接物で使用する部科・機器を1 は対象を使用する部科・機器を1 は対象を2年が多くないで、2年が表現を2年が表現を2年が表現を2年が表現を2年が表現を2年が表現を2年が表現する。1人の子もこととは、2年が表現する。1人の子もことにより、実施のが認識を必要が表現する。2 は、2年では「広島県土田市情報・人のサービス規模・位下「ケージン」が、2年では、2年では、1年の一部が表現する。1人の子もことは、3年の一部が表現するのでは、3年の一部が表現するのでは、3年の一部が表現するのでは、3年の一部が表現するのでは、3年の一部が表現する。1年の一部が表現れないまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	37 ること 起入し提出すること。をい は以上をついて、 は以上をついて、 は、	 A	展育経羅の協士 - トラ (問題 - 影響 - トラ (問題 - 影響 - トラ (関西 - 影響 - トラ (国西 - 影響 - 別を) (国本 - 別を) (国	図像 「神経 中	とした立上り影響の を継術シート 立上り那の暦 を 753/2744 - 株式が建設 - 株式が建設 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
特記事	項		訂正事項				広島県知事登録17(1)第0497号		JOB. NO	D. DATE S 2020.08.		ITLE	小西住宅4号棟	外壁等改修工事		NO.	図面縮小率 A-2:100%
							築設計事	分	PJT SM		N.	AME	建築改修工事特記(仕様書(1)		02	A-3 : 71% A-4 : 50%

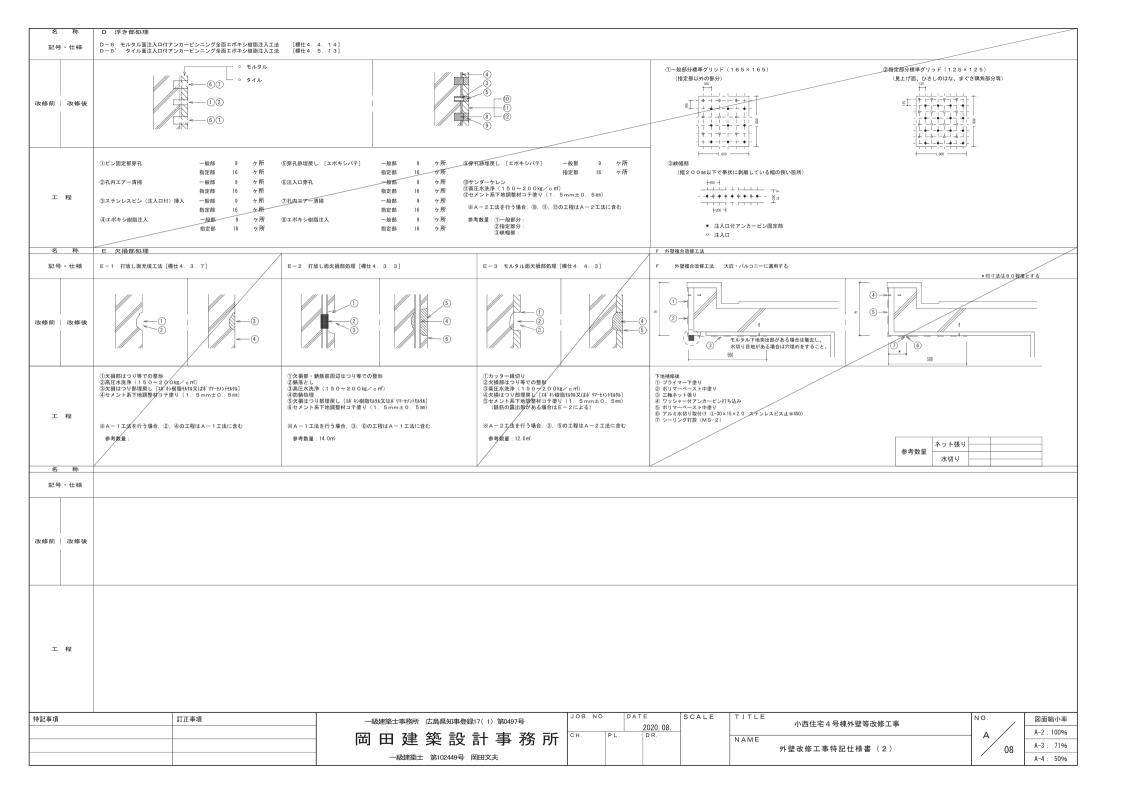
3		(試験方法) (1) 寸法の測定方法		3 6 合成高分子系	防水原の種別	3	10 EU [3. 8. 2. 3]	といの材理 ・硬質ポリ塩化ビニル管 カラー ・ ルーフドレン (改修用2重ドレン)		5 ポリマーセメントスラリー [4.2.2]	品質性能等 注入試験: 拡がり速さ3cm/s以上、粘調係数0.5~1.0
③ 防水改修工事		平均値を求めてパネルの厚さとする	上内側の四隅を0.05mmmまで測定できる測定器で測り、4点の 5 毎用ボード間の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号	助 水 (3. 1. 4) (3. 2. 6)	箇所 種類 使用量 防水の適用	水 改 数装置 格		種別 施・ ちく屋根用 (・ 報型 ・ 模型)	E工銀所 外	17. 2. 21	保水試験: 保水係数 O. 35~O. 55 長さ変化試験: 長さ変化率3%以下(収縮)
事		試験体とする。測定項目については 合計4項目に亘って測定する(高業	は、凍結融解試験前、同試験100, 200, 300サイクル完了後の 系パネルⅡ類は200サイクルまでとする)	王 事 [3.5.2~4] (表3.5.1~3]	POS · S-F2 の指定 の指定 の指定 OS4S · S-M1 による による	設ける 工事 設けない X修用ドレ		・バルコニー用・バルコニー中軽用	改修		引張被替接さ、0.5 k√m = 以上 (28日材静) 曲げ強度:5,0 k√m = 以上 (28日材齢) 吸水率:18 %以下 (72時間)
		(3) 吸水平試験は、JIS A 5430「機機会 (4) 健療性試験は、JIS A 1321「建築会 (4) 健療性試験は、JIS A 1321「建築会	g化セメント板」に準じて行う 他の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う g体(幅40 mm×長さ160 mm×素材厚さ)を乾燥機に		· SHI3	設ける 設けない		ロックウール保温筒及びビーズ法ポリスチレンフォーム保温筒のホルム ※規制対象外	ンアルデヒド放放量 事 (共		劣化曲げ強さ:5. ○ N ✓ m ≠ 以上
		入れ、その温度を60±3°Cに保ち24	映開経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウ シウム又は JISK 1464「工業用乾燥剂」に規定する品質に適		- S3S · S-F1 ・ 製造所・製造所・ ・ N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	!気装置 設ける		既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 鋼管製といの助露巻き ※改修環準仕標書表3.8.5による たてどい受金物の取付け ※図示	進事項	6 吸水顕整材 [4.2.2]	標準仕様書4.2、表4.2.2による
		合するシリカゲルで調理したデシケ が140 miになるように模様を刻む。	アータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔 その後、1/150 mm以上の精度をもつコンパレータを用いて		- MAS · S-M1 - 製造所 · 製造所 · 製造所	設けない !気装置 設ける		ルーフドレンの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の除間		7 既製調合モルタル [4.2.2]	モルタル下地としたタイル工事に使用する様付け用モルタルとして、セメント、細骨材、遅和剥等を 予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
		その上端が水平下約30mmとなるよ	単(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこば立てし、 うに保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、 で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を		· S-N3 による による ・ POSI · SI-F1 (体質) 格	設けない を気装置	11 アルミニウム製笠木 [3.9.2~3]	種類 ・オープン形式 (・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) ・板材折曲げ形 (・オープン形式 ・シール形式) 本体幅 () nm 模厚 (※2.0mm ・	(表3.9.1)		品質性能等 傑水事:70%以上
		別る 吸水による長さ変化率 (Δ L)は、	次式によって求める		1000 10172	設ける 設けない		表面処理 種別()種 皮膜等の種類(※改修模準仕様書表5.2. 着色(・アンパー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカ	. 2による・・)		単位容積要量:18%2以止上 接着強合:標準時 0.0% im ² 以上、温冷線 9.項 10% 0.0% im ² 以上 長さ安化率:0.2%以下
		 (△L)= (L2 - L1) / L1 × L1:散焼時の標線間の長さ (mm) (6) 耐凍結酔経性軟試験は、JIS A 542 	100 Δ L : 吸水による長さ変化率 (%) L2 : 吸水時の構練間の長さ (m) 2「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行			r修用ドル 設ける		既存至木等の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・) ・行わない 下地補作の工法 ※図示 ・			曲 if 強さ: 4.00/m ² 以上 試験方法
		う,100,200,300各サイクル完了 (家業系パネルII類は200サイクルま	寺の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する でとする。) -20±3°Cの気中で約2時間の連絡、		(厚さ) - 25mm	設けない		板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※国示 笠木の固定金具の工法等			イ) 試料の開始 設造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算し、所定量の試料とする。 練り畳化は、JIS R5201 「セメントの物理試験方法」の9 II:規定する練り畳化機を使用し、
		じて行う、試験体の支持装置は、1	主築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試 験に準 P号S2対辺単絶支持方法による		(3) (1) による			建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧	E力に対応した工法		練りばちに用意した水を入れ、機幹しながら30秒間に材料を投入し、3分間繰り混ぜて試料 とする。
		試験体の大きさは、4号(長さ400	mm、柳300 mm)とする。おもりは記号(W 1 - 1000又はW2 変形量は、最大くぼみ深さを測定する			0	1 可とう性エポキシ樹脂 [4.2.2]	品質性能等 比重:表示值±0、10、押出し性:60秒以下			ロ) 炭水率 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定するかがき板ガラス(縦150mm、 横150mm、弾き5mm)の上にJIS P3801「ろ紙 (化学3秒用)」に規定する5 Aろ紙 (画径1)
		屋根露出防水 防水層の種類				91-		スランブ: 3m以下、加熱減量: 5%以下 引張強さ: 常運物性1. ON/mF 以上、低温性1. ON/mF 以上、加	m熟金化1 ON/mF U.F		om) をのせ、その中央部に真ちゅう裂リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設 置し、 (1) で調製した試料を平滑に詰込む。
		工法 種別 施工 断熱材 箇所	仕上塗料 高日射反 備考 料率の防		(輝さ)・25mm	被修工		伸び:常温物性30%以上、低温性30%以上、加熱劣化30%以 引張接着性 最大引張応力:常温物性1.0N/mf 以上	ü.E		その後、直ちにリング型わく上側にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ破部分が上部に なるようにして静煌する。切が飛にる路へにこの出した木分の広がりが最大と認められた 方向とこれに直角な方向の表をさくイスを用いて、1mmの間点まで対策する。
		· C-1 · M4C **C-2	種類 使用量 水の適用 ・製造所の ・製造所の		壁内防水 防水圏の種別	-		破断時の伸び:常温物性10%以上 (1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2)対象とする被着体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。			試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50:リング型わくの内径 mm
		· 0-3 · 0-4	指定による 指定による		種別 経工債所 保護層			(3) 常温・常温 (温度5~35℃、湿度45~85%) において製造所の料 保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合している	指定する期間又は製造後6ヶ月 っこと。		 ハ) 単位を稍積量 JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 二) 標準剤の接着過さ
		· M3D - 2 · P0D · D-3	・製造所の ・製造所の 扱気装置 ・設ける ・設けない		※改修標準性様書6, 15, 6 ※次修標準性構書6, 15, 6 ※7mm以" - S3S (b) (2) 及び(3) に降する (c) (1) に降する	F		(試験方法) 1) 試験室の状態:試験室は、特に指定のない観り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS N 7100「ブラスチック・状態調節及び	「対験のための標準型		 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無修コンクリート製品」の附属書B (規定)及
		·D-4	改修用ドル ・扱ける		S-M2及びSI-M2の立上り部の工法:・接着工法・ 機械的協定工法			個気」の5(標準雰囲気の細別)に規定する標準雰囲気34 (50±10) %1をいう。	級[温度23±2°C 温度		び推奨仕組8-1に規定する重要平板ト-2008下が推接とし、表面をサンドベーバーを用い で軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で開設した技術を厚さ5mmになるように途 付ける。直ちにJIS A 5009 「セラョックタイル」に規定するが設定モザイクタイルで乾式
		(対策)	・設けない 契気装置		S-M2及びSI-M2の立上り部の工法: 接着工法 ・ 機械的固定工法 屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ルーフィングシートの種類及び厚さ			 押出し性: JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補強用エポキシ側8 試験)による。 スランブ: JIS A 6024の5.10 (スランブ試験8法)による。 	図 J 005.12押し出し性		成形の1頭(施ゆう) 「50角ユニットタイル (外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。 その後、28日間、温度20±2°C、温度80%以上の状態で温空養生を行い、これを試験体と
		- PODI - DI-1 ※JIS A 9521による ・M301 ※DI-2 が927±4断勢材2 ・M401 若しくは2巻で通	5.模質 ・製造所の ・製造所の ・設ける ・設ける ・設けない		※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による 総縁用シートの材質 ※発泡ボリエチレンシート 固定金集の材質及び寸法粉状			4) 引張接着性: JIS A 6024の5.15 (引張接着性試験) による。 5) 引張特性: JIS A 6024の5.19 (引張特性試験)は による。 6) 加熱減量: JIS A 6024の5.27 (加熱減量試験法)による。			する。 (試験方法) JIS A6909「建築用仕上塗材」の7.9付着強さ試験に準じて行う。試験体を ダイヤモンドカッターを用いて、タイル間辺に沿って下地板に進するまで切り込みを入
		・MOI 者しくは2号で連 を除く規格に適合 もの又は	きする ・設ける ・設けない		※厚さ0.4mm以上で防鎖処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に機能を 加工した鋼板			7) 密度 : JIS A 8024(05.29 (密度) による。			れ、エポキシ桃脂接着剤で銅製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ 試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び
		JIS A 9511による 質ウレタンフォーム保温*	5A種硬 すの保温		股気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィンゲシート製造所の指定による ・紀気装置の種類: 、設置数量: 個/㎡		2) ポリマーセメントモルタル [4.2.2]	品質性能等 だれ 下がり量:5 mm以内、表面状態:ひび割れの発生がないこと 曲げ強さ:6.0 N / mm ² 以上、圧縮強さ:20.0 N / mm ² 以 J	٤.		接き取る。 (全てがの(根/mm ² 以上) 2. 適用タイルが「介ロタイル・二丁掛けタイル」の場合
		板2種1号若しくに 透湿係数を除く丸 合するもの						接着性 標準時: 1. 0 N / ml 以上、湿潤時: 0. 8 N / ml 以 透水性: 裏面ぬれ、水油の付着がないこと	E 以上、係温時O. 5 N /m² 以上		(試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板H-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用
		(厚さ)・25mm			PCコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、S1-F1、S-C1の場合) ・行う(、固宗・・・行わない ALCパネルア地の入間部の増張り(種別S-C1の場合)			(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。(2) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常しても変質がないこと。	3温常温において製造後6ヶ月保存		いて軽く研磨した後、水溜しを行い重ちに (1) で 間製した試料を厚き/mrになるよう 増付ける。直ちに JISA 5259 「セラミックタイル」 に規定する対象量でサイクタイル で乾式成制の1 隔 (地かう) 「パロタイル(DMmx KOmx 12mg) を4枚29.4 計分数を圧着
		※気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所 歴根露出防水絶縁斯熱工法の場合の、ルー	の相定による -フドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置		・行う(・図示・)・行わない機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け		3 パテ状エポキシ樹脂	品質件能等			する。 その後、28日間、温度20±2°C、温度80%以上の状態で温空養生を行い、これを試験体と
		※回示			建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)値の風圧力に対応した工法		[4. 2. 2]	初期硬化性 (標準): 2. O N /mm ² 以上、接着強さ (標準) 6.0 圧縮強さ: 50.0 k/mm ² 以上、曲げ強さ: 30 k/mm ² 以上、硬化収縮率 (1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	M/mm ² 以上 単:3.0%以下		する。 (試験方法) 『モザイクタイル』の場合と同様に行う。 ホ) 温冷熱返し後の接着後さ
		· P1E · E-1	工場所 債 考 保護層 ・設ける	7 塗膜防水				(2)対象とする被着体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。 (3)常温・常温(温度5~25℃、温度45~85%)(これいて製造所のお	治定する期間又は製造後6ヶ月		(減額体の企業) 「モザイクタイル」及び「ハロタイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強き (爆弾物) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷機器 (試験) 上 モザイクタイル、及び (小ロタイル・二丁掛タイル) とも、各々JIS
		・P2E ※E-2 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程	 設けない 	[3. 1. 4]	工法 種別 施工签所 仕上塗量 高日射反射率 備考 本額 使用量 防水の適用 備考			保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合している (試験方法) 1) 試験至の状態 :試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。	5E & .		A6909「建築用仕上塗材」の7.10温冷橋返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに−20±2℃の
		屋上排水溝 ・図示 ・		[3, 6, 2, 3]	- P O X ※X − 1			標準状態とは、JIS K 7100「ブラスチック-状態顕飾。 囲気」の5(標準 雰囲気の級別)に規定する標準雰囲気	及び試験のための標準雰 第2級[温度23±2℃、湿度		恒温機中で3時間冷却し、次いで50±2°cの別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回転返した後、試験室に2時間静重し、ひび割れ及び膨れの過差を目倒により割める。
5	改賞アスファルトシート 防水 [3.1.4]	防水層の種別 工法 種別 施工箇所 野	統材 仕上塗料 高日射反 備考 射率防水		・L4X ・X-1 ・製造所・製造所			(50±10) %] をいう。 2) 接着強さ : JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 試験A法)による。	B」の5.13 (接着強き		の有能を目開によって調べる。 (温冷機返し後の接着強さ試験方法)「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」 とも、各々温冷機返しは頻光了後の試験体を爆炸状態で2日間静置業生した後、標準時
	[3. 2. 6] [3. 4. 2, 3]	- AS-T1	種類 使用量 の適用 ・製造所・製造所		※X-2 の相定 の相定 ・扱ける・設ける・設ける・設ける・	i.		3) 曲げ強さ : JIS A 6924の5.21 (曲げ強さ試験形法)による。 4) 圧縮強さ : JIS A 6924の5.22 (圧縮強さ試験状法)による。 5) 硬化収縮率: JIS A 6924の5.25 (硬化収縮率試験) による。			の接着強き試験方法と同様に行う。 (全てが0.4k/mm ² 以上) へ) 英さ変化率 JIS A6203 セメント選和用ポリマーディスパージョン及び再乳化移粉末機能 9.9 長さ
		- MA4S - AS-T2 - AS-J2 - AS-T3	の指定 の指定 による による ・製造所 脱気装置		- P 1 Y ※Y - 2 優週層 ・設ける・設けな・	ı,	4 エポキシ樹脂モルタル	5) 使化板編年: 315 A 602405.28 (初期硬化性試験) による。 6) 初期硬化性: JIS A 602405.28 (初期硬化性試験) による。 品質性軟等			変化率に準する。 ト)曲げ強さ JIS AG916 (建築用下地調整維材) 7.11 曲げ焼き試験に準ずる。
		- M3AS - AS-T4	製造所 製造所 設ける 設ける による による による 改修用ドレ		- P 2 Y ※ Y - 2 保護層 ・設ける・設ける・設ける	ı,	[4. 2. 2]	接着強さ:1,0N/mm ² 以上 圧縮強さ:20,0M/mm ² 以上 曲げ強さ:3日後の値 1 O N / mm ² 以上			JIS Athite 経設用ト地開発業料 J / I 田行姓さ紅原に平する。
		• AS-J1 • AS-J3	・ 設ける ・ 設けない		OPA-1 パルコニー○製造所 ○製造所 ●線布行用ノンスリッ			(1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。(2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。(3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶削中毒予防規則」に規定さ	された第一種有機溶剤を停用		
		- AS-T3 - POAS - AS-T4	- 製造所 の指定 による による ・設けるい		の指定 の指定 による			しないこと。 (4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。			
		- AS-J1 - AS-J3	改修用! iシ ・抜ける	8 ケイ酸質系塗布防水	※PA-I仕様は日本建築学会「ポリマーセメント系金展防水工事施工指針〈案)」による。			(5) 常温・常温 (温度5~35°C、温度45~85%) において製造所の指 保存した後であっても、上紀品質性能等の規定に適合しているこ (試験方法)	記字も期間又は製造後6ヶ月 こと。		
		· ASI-T1 (材質)	・設けない 数無接置 521による硬質 の指定 の指定 ・設ける	(9. 6. 1~4) (表9. 6. 1~2)	種別 施工箇所 種別 施工箇所 ※C-UI			1) 試験室の状態 : 試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100 (「プラスチッケー状態質節及1	び試験のための標準界		
		・MAASI ・ASI-JI 70/378-14 ・POASI 若しくは		(9) シーリング	シーリング改修工法の種類 [要 3.	1. 2]		・ 囲気」の5(標準雰囲気の級別) に規定する標準雰囲気2細(50±10) 引きいう。2) だれ : JIS A 6024(2015) 「建築補修用及び建築補強用工ポキシ根配」の			
		るもの又 による杯	:はJIS A 9511 ・設ける 重硬質が92 ・設けない	[3. 1. 4]	・シーリング発填工法 ○シーリング再発填工法 ・依頼シーリング再発填工法			験)による。 3)接着強さ: JIS A 6024の5.14 (接着強さ試験B法)による。 4) 曲げ強さ: JIS A 6024の5.20 (曲げ強さ試験A法)による。			
		2種1号若	は の保温板 しくは 2号で 防水層 定除く規定に ・ 設ける	[3. 7. 4~7]	・ブリッジエ法 ポンドブレーカー張り・適用する・適用しない			4) 無行権と: 315 A 4024075.23 (圧縮強き試験B法) による。 5) 圧縮強き: JIS A 6024075.23 (圧縮強き試験B法) による。			
		適合する	もの・設けない		エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の棒類、後工第所						
		(原さ)・2	them		下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類(記号)						
		改賞アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3ド			外部建具周囲 変性シリコーン (WS-2) 目地 ポリウレタン系 (PU-2)						
		粘着層付改質アスファルトシートの種類8 ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.31 部分粘着層付改質アスファルトシートの8	こよる 理類及び厚さ		シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3による						
		※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.31 股気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指数									
		※収員アスファルトシート級並所の信息 押え金物 ※改賞アスファルト製造所の仕様による									
特記導	項		訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第04	97号	JOB. N		TITLE	小西住宅4号棋	東外壁等改修工事 NO. 図面縮小率
					岡田建築設計事	務	所 (5H.	P L . DR.	NAME	3	A-2:100%
					一級建築士 第102449号 岡田文夫					建築改修工事物	寺記仕様書(2) 03 A-3: 71% A-4: 50%

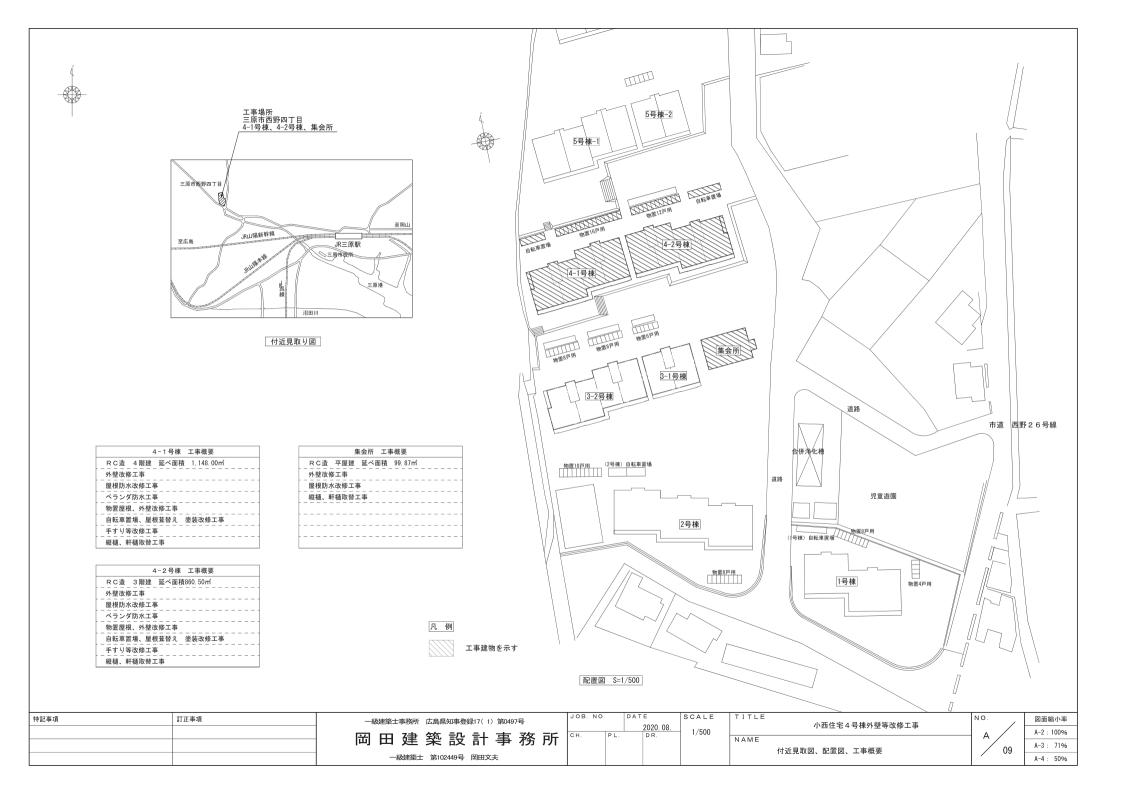
1	ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4]	※樹脂注入工法	1 住上塗材仕上げ [4.1.5]	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	5 8	3 建具用金物 [5.7.2.3]	会物の種類・見え掛り都の材質等 ※改修標準任標書 極激製建具に使用する丁番 ※改修標準仕標書 表5. 握り王、レバーハンドル、押板鏡、クレセントの取付けら	7.31246	/ 5 at		・クローザー類 (塩質・性能)
外壁	[4. 2. 2] [4. 3. 4~6]	※A 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0. 3以上の. 5未満 0. 5以上1. 0未満 0. 5以上1. 0未満 200~300 ※40・ ※40・ ※470・ り、5以上1. 0未満	[4. 2. 2] [4. 6. 5]	仕上連材の種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状及び工法等	故		担り土、レハーハンドル、神由雄、クレセンドの取付け5 ・錠前類(シリンダー指錠及びシリンダー本緒り錠)	直・埋具表による	/ 真教		数分 ① ドアクローザ ② ヒンジクローザ ② フロフヒンジ 性能試験項目
改修		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		・蔣付け仕上 ・外装薄塗材Si ・砂壁状 ・市とう形外装薄塗材Si ・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り)	*		「mm」/ デッドポルトの出寸法は17mm以上とする。 銀付きのモ ンキーなどのキーシステムが構築できるものとする。	のはマスターキー、グランドマスターキー、コンスト	・ラクシ 事		## 型 Gradid 選手 間じたのと(N-m) 効率(%) 間じたのと(S-m) 効率(%) 間じたのと(N-m) 効率(%)
事		・D ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130・ ○		- 外装薄塗材E - さざ波状 - でたん状			グイーはこのイーンストムが構造してもものとする。 (性能) 使用頻度による 性能		/		8 2 1061± 3011± 1041± 3041± 1061± 3011±
125		コア抜取り検査 ・行う ※行わない 補修方法(ポリマーセメントモルタル充境) 注入材料		- 防水粉外装滞塗材E ・ ・			 シリンダ箱錠のみ)ラッチポルトの関閉線り返しングカが試験前の2倍未満であり、動作に支険がな 	試験(40万国)を行った後、ハンドルでの開閉操作力。	B/577#		3 1501± 3501
Ĭ.		※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024)による(※転粘度形・中粘度形) ・軟質形エポキシ樹脂の中粘度型又は低粘度型		・砂壁状じゅらく			2) キーによるデッドボルトの地類錠繰り返し試験(10	5回)を行った後、 試験前の回転トルクの2倍未満で	89. HS		
放比		・Uカットシール材充領工法 カット都充填材		・京屋状じゅらく ・外鉄厚塗材C ・吹放し・凸粉地理・平たん状			ルクが10M-cm以下とする。	リンダ単体の施程錠機り返しの評価は、シリンダーだり			閉じ速度(分) 常温(5~35℃) 無風状態において、緊閉 (70和-0080) から全間 (0和-0080) までの時間を5~40に開催で すること。
臣		※可とう性エポキシ樹脂 ・シーリング用材料 (※1成分形又は2成分形ポリウレタン系)		遊材 - 外装厚塗材S: ・ 凹凸状 ひき起こし ・かき落とし			3) キーによる施設機構の施程錠繰り返し試験(10万回 操作に支算がない。 4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった。	/			温度後存性(で) 観燈油の走動点は、JIS K 20年(原油及び有油製品の定動点並びに石油製品最上点試験方法)
20		シーリング材のうえにポリマーセメントモルタル充填 ※行う ・行わない ・シール工法		- 外装厚塗材E 吸放温性 適用する 適用しない 上塗材 ・適用する ・適用しない			使用の合鍵でシリンダが回 転でき、かつ、1箇所(8)	K、キーのほどを じに乗りる何里は10 NA りじめる。 豊浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリングが 回転	また、米 しないこと、		別定し、-15℃以下であること。 ストップ人力 他 Feは下 100 Neは下 100 Neな下 100 Neは下 100 Net Neは下 100 Neは下 100 Neは下 100 Neは下 100 Neは下 100 Neは下 1
		ひび倒れ部シール材 ※パテ状エポキシ機能 ・可とう性エポキシ樹脂		・複層達材CE ・ ゆず和状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸伏	-		(キーに加えるトルクは、150M-cmとする)外力に 対する 性能1) デッドポルトの押込み強度試験(10 MM) を行なった	B 2000 Lanz. Per Lau-1410	H & W		2 個し、10-44 型は200 N-m以下
2	欠損部改修工法	※充填工法		O機器仕上 可と38機器塗材CE 耐候性 ※耐候影3種 ・ 複層塗材S: 上塗材			あること。	/	MI C		注
	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 7]	欠損卻充填材 ※ポリマーセメントモルタル ・エポキシ樹脂モルタル		○模層塗材目 溶 様 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系			 デッドボルトの側圧強度試験(10 M) を行なった器 デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(53.8 	、加圧板がデッドポルトを通過しない。 J)の衝撃荷量を加えたとき、解戯状態(デッドポルト	-の実出		数(形) 関係がから負荷する。パ
4		(下記以外は4-1コンクリート打放し仕上げ外壁による) ※モルタルを撤去して改修 (撤去後の補修は先てん工法 [4.4.8]による)		防水形模層塗材CE 外 観 ※つやあり ・つやなし			量が3 m未満) にならないこと。 4)デッドポルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験(58.8月の	前撃荷重を加えたとき、解綻状態(MD圧板過した状態)	1006		(パックチェック ックテェック開始発度 (20~65° 機能を有する機)から更に20°まで
3 1	ひび割れ部改修工法 [4.1.4]	※樹脂注入工法 ・シール工法 ・ロカットシール材充てん工法		・助木形植層塗材 E ・メタリック ・助木形植層塗材 R E			ないこと。 5) (シリンダ本線り能はグレード3以上の形込錠の場合	ストライクブレートの厚ま1.5 m 以上のステンレス	類裂と		様の砂道用) 関く側の時間は5.00以上として いること。
外 壁 改	[4. 2. 2] [4. 4. 5~7]	・モルタルを撤去しないで改修 ※積額注入工法 ・シール工法・Uカットシール材充てん工法		防水形植層塗材尺S 可とう形容 で マン	-		5) (シリンダ本線リ前はグレード3以上の豚及紋の場合 しトロヨケは厚さ1.6m以上の銅製の一体 強度を持つものとする。 使用原質量に対する性能(シリンダ箱錠のみ)	 成りとする。またはズトライクの強度と同 ²	等以上の		ディレードアウシ 間接が の位置からディレ コン性能 (物) ー ドアウション経験角度さでの
· 学 工 事		※充てん工法(欠機部の面積がO 25㎡/箇所程度以下の場合)		数修用仕上 可とう形改修室材RE 新検性 ※新検形3種 ・ ・可とう形改修室材CE 上塗材			 ラッチポルトの側圧強度試験(4 KM)を行い、荷里 	E難いたとき、ハンド <mark>ル操作及びラッチングに支障が</mark>	¢u.		ディレードアラシ 物種が10秒は上端官でき、また コン常数9度(9)、その物数0番号可能である
- 2 - 1	欠損部改修工法 [4.1.4]	充てん材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・エポキシ機能モルタル		沿 媒 ※水系 ・溶剤系 ・胃溶剤系			 レバーハンドルのねじり強度試験(3.5 期・on)をいること。また、施設時ハンドルが固定される鍵は 	施錠状態が維持まれ、かつ、施料錠操作に支険がない	D ₂		~W') [28.
タル	[4. 2. 2] [4. 4. 8, 9]	・モルタル塗替え工法 既製目地材 ・使用する(科状)		樹 脂 ※アクリル系 - 外 観 ※つやあり - つやなし			 掘り玉のねじり強度試験(3 Mi・m)を行なった後 また、施錠時提り玉が固定される錠は、施錠状態が 	トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動している; 前待され、かつ、協解能操作に支離がない。	ce.		(ディレードアク ション機能を有す
# a	浮声器改修工法	仕上げ厚又は全塗厚が25cmを超える場合の措置 ※図示 ※モルタルを擁去しないで改修		·*\$1) v9	-		 ハンドルの引張強度試験(2 MW)を行い、存置を除 ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、 	ったとき、ハンドルが正常に作動していること。また、	. 施設等		本機制のみ機用
禁 型	[4. 1. 4] [4. 2. 2]	・アンカーピンニング部分エボキシ樹脂注入工法 (・注入口付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					5) ハンドルの亜直荷重強度試験(2 株)を行い、荷里	E難いたがき、ハンドルが正常に作動していること。i	また、施		(中心界り込み両件
	[4. 4. 10~15]	・アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (・注入口付 ・) アンカービン ※ステンレス鎖(別8304)呼び径/mmの丸棒で全よが切り加工をしたもの					銀時ハンドルが固定される似は、拒綻状態が維持さ 鍵	/			立のみに適用) 新 接近し間間 for acc 2 耐久試験後も上記初階後を返足 耐久試験後 4上記初階値を満立 耐久試験後も上記初階値を高立
		注入口付アンカーピン ※ステンレス鎖(SUS)04) 呼び怪外径6mm	2 所要量の確認 [4.6.2]	工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書表 4.6.1による			 かぎ(鍵)数は、1.5万以上とする。ただし、異なる する場合は、有効かぎ(鍵) 違い数とみなさな 	n∜のとする。			● 後の間じせ していること。 していること。 していること。
		・モルタルを撤去して改修	(3) 既存塗膜等の除去及び	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			 町一タンプラーの使用数は、砂 % 以下とする。ま 連続までとしていること。 	★ 6 本タンブ ラーにおいては、キーの同一刻みに	は、最大2		接近し間で Groot 耐火球機体上上段和期間を測定 耐火球機・上足和期間を測定 耐火球機体上上段和期間を測定 後の効率 していること。 して少ること。 していること。
		・ 元頃工法 ・ エボキシ級層モルタル ・ボリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法	下地処理 [4.6.3]	防火材料の指定値所()			試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一覧一第 1 部/: b	動士注) (ニトス			(%) 線乱に関係後の例 耐入試験後も上記和別像を集足しているごと。
		仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の搭置 ※図示		既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 ※サンダー工法 処理範囲 ・既存仕上げ面全体 ※数示の範囲			/	(C)/AL) 1-28-(I)			(金数 (巻)
4	外型複合改修構工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大阪の技術 評価を取得した工法とする		●			・銀刷類 (レパーハンドル) (性能)				接起し関係後のパ 軟久試験後も上記初期後を満足 フウテェック性数 していること。
4		(下記以外は4-2コンクリート打放し仕上げ外壁、及び4-3モルタル塗り仕上げ外壁による)		· 5 0 M P a 以上 · 1 0 0 M P a 以上			ねじり 強度 レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5 KW・m) を行っ	こった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作員	してい		(参) 接名し関係をのデ 耐欠状態を上記和期後を無足
4 1	タイル張替え工法用 材料	タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル		・ () MPa以上			ること、また、施設時ハンドルが固定される鍵は、施設す	態が維持され、かつ、施解鍵操作に支障がないこと。			イレードアクショ していること。 ン物物 (物)
外 壁 改	[4. 2. 2]	- JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 - JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系		・水洗い工法 処理範囲 ※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・図示の範囲			引張り 強度 ハンドルの引張強度試験 (2 MM) を行い、荷重を除い!	:とき、ハンドル が正常に作動していること、末た、	RES MISS		親リ道し開閉後の - 耐久試験後±6m以内
企 工事		タイルの形状、寸法等		下地面の補修 外壁改修フロー及び数量による 下地調整材料 ※下地調整塗材			ハンドルが固定される値は、筋旋状態が維持され、かつ				阿剛健位置 (mi)
9				・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上塗材主材			垂直荷里強度		.		開放 (新り返 上間(開発数)
張仕			4 マスチック塗材塗り [4.6.6]	マスチック塗材塗り 種別 ・ A種 ・ B種			ハンドルの極直荷重強度試験 (2 MM) を行い、荷重を所 施錠時ハンドルが固定される症 は、施錠状態が維持され		02.		生1.6 74級付けは、石製の間モドソの704程度までとする。 ほ2.20/4/ 型は右型の間モドハウS04程度までとする。
计外外			[4. 7. 2]				試験方法は、JIS A 1541-/(建築金物一級一第 1 部:試	(対法)による。			(2.2.25m) 型は石反の用じたからの44種度までとする。 Grodo1を選案する場合は、国際による。
豐		当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、/あらかじめ監督員の承諾を受 5	1 改修工法	※かぶせ工法(・カバー工法 ・特出工法)	1	9 類製建具	性能等級(建具符号:・建具表による・)			(体験方法)
		176-26 B	[5. 1. 3]	・搬去工法 (・パパー工法 ・行出工法)		[5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表5. 4. 2]	簡易気密型ドプセット ・適用する ・適用しない 外部に面する節する建具の耐風圧性の等級				 仕能試験は、JIS A ISから (建築用ドア金物の試験方法一第3部: フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローサ) に規定する試験方法による。
		役物の使用曲所	2 防火戸 [5.1.4]	・適用する 図示 (・建具表 ・平面図 ・)		[表5.4.2]	外部に面する値する建具の耐風圧性の等級 防音ドアセット、防音サッシの逆音性の等				2) 試験ドアの賃貸は、/番手は25kg、2番手は40kg、3番手は50kg、4番手は50kg、5番手は100kg、6番手は12kgとする。
		外 装 出隅、窓台、マグサ(標準一体成型品以外は接着成型品とする) ・タイル張替え工法(下地モルタルを撤去する場合)	3 建具見本の製作	※製作しない ・製作する			断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等	- 適用しない B (等級・) - 適用しない	1	2 ME [5. 7. 4]	マスターキー /・製作する (組) ・製作しない ・既存に組込む 銀箱 /・設ける (個用 組)・設けない
		既製調合モルタル(張り付け用に使用する場合)	[5. 1. 5]				耐震ドアセットの面内変形追従性の等級	(等級 ・) ・適用しない	,	3 自動ドア開閉装置	
2	ひび割れ部改修工法	※タイルを撤去して改修 (撤去後の経修はタブル部分孫替え工法による) ※機能注入工法 ・ Uカットシール料介でん工法	4 防犯建物部品 [5.1.7]				網板	- MIH C 4-01	l l'	[5. 8. 2, 3]	自動ドア
	[4. 1. 4] [4. 2. 2]	・タイルを搬去しないで改修 ※被順注入工法	5 アルミニウム製造具	性軟等級			材料 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき銅板)	めっき付着量 厚さ KZ12又はF12 ・ 改修標準仕様	*****		- SSLF-2 表5.8.1による - 先線(反射)スイッチ - 行う
	[4.5.5,6] 欠掛册改修工法	・タイル部分保轄え工法	[5.2.2~5] (表5.2.2)	外部に面する建具 - A種 (建具符号:※建具表による) - B種 (建具符号:※建具表による -)				E108 - IC\$ 9	· 查款 0 . 4 . 2		. ngs_D-1 適用する . fMD-1 ※改修標本性検書 . fMD-1 ※改修標本性検書 - 適用しない - 電波スイッチ - 表による) - 表による)
	[4. 1. 4]	(交換部の面積が0.25m /施所以下の場合及び下地モルタルがある場合) 接着材の種類 ※ボリマーセメントモルタル ・エボキシ樹脂		・C種 (建具符号:※連具表による・) 防音ドアセット,防音サッシ 盗音性の等級 (・)	,	o 類製軽量建具	性能等級(建具符号:・建具表による・	,			
	[4. 2. 2] [4. 5. 5, 6]	・タイル研替え工法 (下地モルタルを撤去する場合)		(建具存号:・建具表による・・・) 適用とない	'	[5. 2. 2] [5. 5. 2~4]	簡易気密型ドアセット 通用する ・適用しない	,			/・ 図示 ・ 押しボタンスイッチ ・ ベダルスイッチ
		既美国合モルタル(張リダ付用に使用する場合) 特額原登目地及びび割れ原発目地 位置 ※28様準性保書表4.5.1による タルル優リア地等の下世分少の応募力機能、行う ・行わない		断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級(・) (建具符号:・連具表による・)		(5. 5. 2~4)	・適用しない 防音ドアセット、防音サッシの避音性の等級	(等級・ ・適用しない		1 /	- ・ 多目的トイレスイッチ (品質・性能)
		・セメントモルタルによりの地盤質タイル(セラミックタイル)張り タイル張りの工法 が接身イル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り		・適用しない 耐震ドアセット 面内変を追随性の等級 (・)		/	断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級			/	駆助装置·制御装置
		・ イルス・マス・・マス・・マス・・マス・・マス・・マス・・マス・・マス・・マス・・マ		(競人等・連具表による・ ・通用しない		/	耐震トアセットの面内変が追促性の等級 銀板の厚さ ・改修標準仕様書 表5.5.	・適用しない		/	作動電圧 定格電圧に対し80%~110%の電圧で作動に異常がない
		シーリングがの機能 打破ぎ目的、ひび割れ誘発日地 ※ポリウレタン長 伸能調整日地その他の日地 ※変成シリコーン系・		枠の見込み寸法 ※建具家による ・ 表面処理		/	顕板の厚さ ・改物標準工作書 表 5. 5. 顕板			/ /	適用使用周囲高度(°C) -0°C-40°C 電影機の機械防止結盟 電影機の機械防止結盟 電影機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護阻器を設置
	浮声器改修工法	・アンカーゼンニング部分エボキシ樹脂注入工法 (・注入口付・・・・)		外部に直する建実 - B-1種 - B-2種 皮膜等の種類(※標準仕样書表5.2.2による)		/	E 5)	材 質 合めっき銅板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー	-49.16	1 /	検出装置(本体センサー、補助センサー)
"	[4. 1. 4]	・アンカーゼンニング全面ボイシを開発人工法 (・注入口付・・・ ・アンカーピンニング全面ボイシを開発人工法 (・注入口付・・・・アンカーピンニング全面ボリマーセメントスラリー注入工法 (・注入口付・・・)		着色 (・アンパー ・プロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 服内の建具 ・0-1種 ・		/	類似 ※里 ・ス・ 召合わせ、縦小口包み板、押線 ※	テンレス飼板		1 /	項目 品質・性能 作動電圧範囲 定格電圧90 % ~110 % で作動させた時に興常がないこと。
	[4. 2. 2] [4. 5. 5, 6]	・注入口付アンカービンニングエボキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカービン本数 ・		皮膜等の種類 (※改修標準仕様書5.2.2による。) 着色 (・アンパー・プロンズ ・プラック系 ・ステンカラー)	,	1 ステンレス製建具	位言わせ、板小口凹が板、押線 ※: 性能等級 (建具符号:・建具表による・)		1 /	行動産に開題 人に保証になって「10%ですがあっていっと。 出力接点容量 有接点 無信点 無信点 電影機にサーマルブロテクターを内蔵、又は制御器器に段階図跡を設置
		アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの		総器水の処理方法 ※固示・ 水切り板、ぜん板 ※図示・		[5, 2, 2)	11.配号板 (建共付号:・建共表による・ 商品気密型ドアセット ・適用する ・適用しない	,		1 /	AC 100V 0.5A以上(抵抗負荷) DC 59V 0.1A以上(抵抗負荷)
	/	/注入ロ付アンカービン ※ステンレス鎖(SUS304)呼び径外径6mm ・タイル部分張替え工法	6 網戸等	種類 材種 線径 網目		[5./4.2] [5/6.2~4]	外部に面する面する建具の耐風圧性の等級 防音ドアセット、防音サッシの適音性の等級	・S-4 ・S-5 ・S-6 (等級・T-1・T-2)		1/	00 30V 0.3A以上(統計負荷)
	/	- タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合) 仲縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による	(5. 2. 3)	- 防虫網 ※合成樹脂製 ※0.25m以上 ※16~18メッシュ ・ガラス機能入り合成樹脂製 ・		1/	断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級	適用しない		1/	応答時間 (秒) 0.3以下 適用使用関因遺産 (*C) -16*C~44*C
	/	タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル(セラミックタイル)張り		・ステンレス (SUS316) 製 ・防馬網 ステンレス (SUS304) 総材 1.5mm 網目寸法15mm		<i>y</i> 1	耐震ドアセットの面内変形追従性の等級	・適用しない (等級 ・)		V	
	/	タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良種上げ張り 外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り			† I.	/	a project see you can see of \$800.	・適用しない		Л	
	/	・有機系接着剤による陶磁器質タイル(セラミックタイル)張りシーリング材の種類 打離ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系	7 樹脂製煉具 [5/2.2]	性能等級 (鎌具符号:・鎌具表による) 外部に面する面する建具の耐風圧性の等級 A種 B種 C種	/		鋼板 (屋外) ※SUS430JIL、SUS443JI、SUS 鋼板 (屋内) ※SUS430、SUS430JIL、SUS44	J1, SUS304 -		/	
5	自 地改修工法	伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系・ ・目地ひび割れ部改修工法	[5. 3. 2~5]	助音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 (等級 ・T-1 ・T-2) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級	A		表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・:		/		
	[4. 1. 4] [4. 5. 16]	・伸縮調整目地改修工法 位置及び寸法 ※図示	/	新熱性の等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・)	/				/		
1	外壁複合改修構工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術 評価を取得した工法とする									
特記事	項	訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号		JOB. NO		SCALE TIT	LE	小西住宅4号棟	B外壁等改修工事 NO. 図面縮小率
				岡田建築設計事系	久 i	Б Ғ Сн.	2020. 08. PL. DR.	NAM			A A-2:100%
					カー	וליו		NAM		桑改修工事特記	2仕様書 (3) 04 A-3: 71%
				一級建築士 第102449号 岡田文夫							A-4: 50%

6 13 景敷き	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (豊床:・KT-I・KT-I・KT-II・KT-K・KT-N)	6 17 タイル張り	仲緒調整目地の位置 床タイル (※継、横とも和以内ごと ・図示 ・)	6	 天然木化粧合板 	化粧板の樹種名() 7		・合成樹脂エマルション模様塗料塗り 屋内スンララート蕾 ・A種 ※B種 ・A種 ・B種	
内 [6. 12. 2] 表 [表 6. 12. 1]	(性が) - 機能性 (対性 ・ が性 ・ が性 ・ が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内 [6. 16. 2~4]		内族		接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ(mn) () 装装		(EP-T) モルタル面 ・C種 プラスター面	
改修 工 車	豊表及び豊康はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極め	敬	修工 務状/寸法 股水率による区分 うわぐすり 役物 色 再生材 耐速害性耐潤 債害 箇所 (m) 1頭 1頭 1頭 1回 1回 <td>双 修 工 工</td> <td>· 特殊加工化組合板</td> <td>・防虫処理 牧棒 (・オーパーレイ・プリント・塗装) 工事</td> <td></td> <td>サっこうボード面 ・ウレタン樹能ワニス塗り (UC) 木部 ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種</td> <td></td>	双 修 工 工	· 特殊加工化組合板	・防虫処理 牧棒 (・オーパーレイ・プリント・塗装) 工事		サっこうボード面 ・ウレタン樹能ワニス塗り (UC) 木部 ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種	
1	て少ない材料を使用したものとする。	事	箇所 (rm) 1 頭 I 頭 II 頭 II 頭 II 頭 II 頭 II 頭 II 頭	*		表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ(m) ()		・ラッカーエナメル差り (LE) 木部 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 ・オイルスティン塗り (OS) 木部 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 ・木材保護契算をり (WP) 木部 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種	
1 4 モルタル塗り	既製目地村 ・設ける 施工場所 () 移杖 (※國示 ・) ・設けない				・メラミン樹脂化粧板	・防虫処理 JIS K 6903による (※1.2 ・)		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	床目地材 ・設ける 工法 (※押し目地 ・) ・設けない		標準的な曲がりの役物は一体成形とする		・ポリエステル樹脂化粧板	2 1 2 2		「富成物師師「マイン・ア・ボットを でいまれい性が、 ※! (種 でつや者)を検索エマルションペイント参り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこう ボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしみ止め	
	(品質・性能)	4	標準的な曲かりの改領は一体政務とする 試験後身 ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない		・ミディアムデンシティ ファイバーボード ・単板張りパーティクルボード	IDF · 無研察板∨N · 研察板∨S		※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の产生りをしみ止めシーラーとする・ 合成樹脂エマルションペイント変りの変替えの場合のしみ止め	
	現日 品質・性能 防水剤の種別 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 混合剤合 セメント重量の5%以下		・既製鋼合モルタル		化粧パーティクルボード	10 ・12 ・15 ・18 ・ ・単板オーパーレイDV ・塗装DC		※液修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする ・富日針形針室修料等り	
	凝結及び安定性 (凝結) JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の8の規定によって行う。 凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内		モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、如骨材、混和剤 等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。		/	・ブラスチックオーバーレイDO ・10(難然)・12(難然)		下地関巻(改修標準仕様書表7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種 塗料その地 川X5555 (銀燈用高日射数参楽教料) 2種 等級 ・1種 ・2種 ・3種 塗付丁屋は、業料英連所が様常よる	
1 5	(安定性) JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9の規定によって行い、収 絶性、膨脹性のひび割れ及びそりについて観察する。 70%以上 95%	6	(品質・性能・試験方法) 6章 既製調合モルタルによる		・ハードボード (素地)	・未研磨板 (・スタンダード ・テンパード) RN			l
	以下 80%以下 由げ及び圧縮效度は70%以上 吸水比 95%以下		・既敬詞合目地材 (品質・性能・試験方法)		・ハードボード (化粧)	・ 研磨板 (・スタンダード・テンパード) RS 8 ・ 内装用 D I ・ 外装用 D E 環	1 アスベスト含有理材の除去 工事	・アスペスト含有理材の事前調査	/
	透水比 80%以下		6章 既装調合目地材による ・接着剤による陶磁器質タイル張り		・インシュレーションボード	· 2.5 · 3.5 · 5 · 7 · · · · · · · · · · · · · · ·	[9. 1. 1. 3~5]	工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスペストを含有している吹き付け 材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。	/
既製調合モルタル [6.15.4]	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、 ・ メント、細骨材、混和剤等 ・ 予め工場において所定の割合に配合した材料とする。	E	タイルの形状、寸法等 地工 数次率による区分 5わぐすり 役物 色 解生材 脚漆害性 計別 版別 工刻 正刻 正刻 正刻 形かり 南 標準 校注 株 本 本 本 本 本 本		せっこうボード等の下地は図示による。 適音シッル材 ・適用する (・シーリング材 ・	- 4		調査範囲(・・団宗) 貸与資料() ・分析によるアスペスト含有強材の調査 分析対象	
	品質性能等 保水率: 7 O 96以上		館所 (mm) I類 I類 I類 II類 B		・適用しない 合極能、MDF及びパーティクルボードのホルムア			アクテノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、 トレモライト	
	単位容積質量:1.8kg/L以上 接着強さ:標準時 0.6N/mm ² 以上、温冷線り返し後 0.4N/mm ² 以上				※規制対象外 合振頭の現付け ※5種 A種			分析方法 ※ 以 J S A 1 4 8 1 「建材製品中のアスペスト含有車測定方法」による	
	長さ変化率: 0.296以下 曲げ強さ: 4.0W/mm ² 以上		標準的な曲がりの役物は一体成形とする		せっこうボードの日地工法 ・仕上げ表による ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外			分析結果については、監督職員に報告すること	
	試験方法 イ)試料の調整		観練後り・行う・行わない	27 メラミン財胎化粧板	JIS K 6903規格品			材料名 定性分析 定量分析 (JIS A 1481-2) (JIS A 1481-3)	
	製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の9.1に規定する練り混ぜ機を使用し、		内装置タイル接着材強りに使用する有機質接着剤のホルム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		厚さ・1.0 ※1.2・1.6			- (箇所数:) - (筮所数:) - (箇所数:) - (箇所数:)	
	繰りばちに用意した水を入れ、撹拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料 とする。	18 セルフレベリング材塗り [6. 17. 2, 3]	種類 ・せっこう系 ・セメント系 金厚	28 浴室天井村	準不燃認定品 製造所 見切縁、水切りは特記製造所の仕様による			- (箇所数:) - (箇所数:) サンブル数 1 箇所あたり3サンブル 探取箇所 - 図示	
	JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガタス」に規定するみがき板ガラス (親150mm、 横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3901「ろ縁 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11	20 床用防塵塗料塗り	材質 水性アクリル系模脂塗料(※標準色・ 仕上種別 コーティング (ローラー刷毛塗り)		見切線、水切りは神能製造所の仕様による			アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点	
	(m) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰込む。	a d marrier	ecani /	プ (7. 1. 3)	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放射 ※規制対象外			適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点/(各施工箇所ごと) 別定1 処理作業前 処理作業室内 ・各1点 ・各2点 ・各3点	
	その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ組部分が上部に なるようにして静霊する。 60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた	21 壁紙張り [6.14.2、3]	ホルムアルデヒド放散量 ※提制対象外 加工箇所	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火料 ・次の箇所を除き防火材料とする	材料とする る (・)		瀬定2 調査対象室外部の付近 · 各 1 卓 · 各 2 点 瀬定3 処理作業中 処理作業室内 · 各 1 点 · 各 2 点 · 各 3 点	
	方向とこれに高角な方向の長さを - 考久を用いて、1 mの無値はで測定する。 試験は3 回要施し、その甲均値を用がて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 /(注) 50:リング型わくの内径 mm		紙 機雑 プラスチェウ 学機 質 その他 ※不燃 ・準不修 ・ 疑燃	事 ② 既存塗膜の除去	塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除っ	去範囲		※ 測定4 負圧・除農装置の排出 出口反出し風速1m/soc以下の低置・81点・82点 ※ 測定5 処理作業室外・計1点・4方向各1点	
	ハ〉単位容積質量		モルタル・プラスター面の下地調整 ※756種	[7. 2. 1]	※塗替え面積の30%			※ 別定5 処理作業室外 /計1点 ・4万回各1点 (数地境界) ※ 別定6 処理作業室内 ・各1点 ・各2点	
	JIS A 1171「ポリマーセメント ボルタルの試験方法」に準ずる。 二)標準時の接着接き		コンクリート・ALC面の下地調整 ※RB機 せっこうボード面の下地調整 ※RB機	③ 下地調整 [7. 2. 1~7]	集性 木部	B種 ·) (・RA種 · RB種)		(シート要生中) 別定7 処理作業後 処理作業室内 ・各1点 ・各2点 ・各3点	
	 適用タイルが「モザイクタイ/ル」の場合 (試験体の作類) JIS A5371 / ブレキャスト無筋コンクリート類品」の附属書B(規定)及 	2 2 断熱材打ち込み工法 (フロンを使用	校極 /		亜鉛めっき銅面 (※RE	B種 ·) (※RA種 ·))		測定8 (シート教会後 調査対象室外部の付金 ・各1点 ・各2点 1 週間以降)	
	び推奨仕様B-1に規定する普通平板M-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用い で軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗	しないもの)	※押出法ポリステレンフォーム保護材 2種		モルタル面、プラスター面 (※RE			測定方法 測定3 測定1, 2, 4, 6, 7, 8 測定5	
	付ける。直ちにJIS A 520g「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形のI類 (能ゆう) 「約04ユニットタイル (外のり寸法約300mm×3000mm)」を圧着する。		・硬貨ウレタンフォーム保温材 /種 1種2号 ・25 ※20 ・フェノールフォーム保温材 A/種 1種2号 ・25 ※20 断熱材補除材・新熱材を対・新熱材を対・新熱材を対・ ・25 ※20		ルCパネル面 (※RE コンクリート面(DP)、押出成型 /	B種 ・) (※RA種 ・) (・行う ・行わない		メンプレンフィルタ直径 (mm) 25 25 47 試料の吸引波量 (I/min) 1 - 510 -	
	その後、28日間、温度20±2°C、温度90%以上の状態で温空養生を行い、これを試験体と する。 (は動かな)、JIS 4.50°C 「健然毎件ト係は」のJ 0分替は立ば動し場じて行う。 は動体を		・ 放付け程期かレタンフォーム既然材(次項による) 上記録選材はフロンを含まないものとする		セメント板面 せっこうボード面、その他ボード面(※RE) (※RA種・) (・行う・行わない B種 ・) (・RA種 ・RB種)		試料の吸引時間 (m i n)	
	(試験方法) JIS A 5609 「重業用仕上塗村」の7 9付着強さ試験に準じて行う。試験体を ダイヤモンドカッターを用いて、タイル吸辺に沿って下巡航に連するまで切り込みを入 れ、エポモン相撲接着新で開製アタッチメントを推着し、引援試験機を用いて接着強さ	23 断熱材現場発泡工法 (19.9.3)	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 種類 ※A種 1 ・B種 1 厚さ mm 難燃性 ※3歳 上記保温材はフロンを含定ないものとする					・アスペスト合有政制の別位 ・アスペスト合有政制け村の除去 除去対象管例 ※回示	
	試験を行う。 なち、接着強さの測定循所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び 抜き取る。 (全てが0.64/m2以上)	2.4 経量鉄骨天井下地	野経等の種類 屋外 於25型・	(4) 鯖止め塗料塗り [7.3.2~3]	差 装 面 鉄鋼面 EP-G以外 塗替/			除去工法 ※改修標準仕様 が 9. 1. 3 (b) (1) による	
	 適用タイルが「ハロタイル・二丁掛けタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及 		屋内/※19型・25型 屋外の軒天井、ピロディ天井等は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とする		新規5	見え隠れ ※A種 ※B種・		除去したアスペスト含有飲付け料等の飛散防止 ※密封処理(※湿潤化 ・セメント目化) 除去したアスペスト含有飲付け料等の処分	
	び推奨仕様 B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く硬磨した後、水温しを行い直ちに(1)で 顕装した試料を厚さ7mmになるよう		工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 信の風圧力に対応した工法			え ※B種 ※C種・ 鉄鋼面見え掛り ※B種 ※A種・ 見え随れ ※B種 **B種・		当該工事により発生する石線を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 処分場所 (選挙距離 ()	
	塗付ける√ 直ちに JIS A 5208「セラミックタイル」 に規定する外装壁モザイクタイルで 乾式成凝のⅠ 類 (施ゆう) 「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計談校を圧着		野緑受、/ボリボルト及びインサートの間間 図示 周辺部の娘からの間隔 図示		亜鉛めっき銅面 EP-6以外 塗替?			受入条件(※平归受入 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	
	9 ©。 その後、28日間、温度20±2°C、温度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体と サス		野緑の開題 - 図示 既存の世辺タインサート - 使用する - 使用しない あと旭エチンカーの引抜き試験 - 行う (・歴外の試験夜重:) - 行わない		EP-G 塗替/新規製	え ※C種 ※C種 ・		なお、工事を送後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい 場合は、監督員と協議すること。 ・アスペスト含有保証が等の除去	
	(対象方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 ホ) 蓋冷線返し後の接着強さ		・吊りずルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示					除去対象範囲 ※図示 作業場の隔離 ・行う	
	(試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。		・天拝のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 神強方法 ※標準仕様書14.4.4(h)(1)~(2)による ・図示	(5) 仕上げ塗料塗り [7.4.2~7.15.2]	塗装の種類	生装面 工程 塗替え 新規		除去したアスペスト含有保温剤の処分 競去したアスペスト含有吹付け材等の処分による	
	(進冷線返し試験) 『モザイクタイル」及び『小口タイル・二丁掛タイル』とも、各々JIS A8909「建築用仕上塗材」の7.10温冷線返し試験に準じて行う。		・ 天井のふところが1.0mを超える場合 ・ 捕造方法 ※図示 ・ 天井下世材における耐震性を考慮した補強		・音成樹脂開音へイント型り 木棚	部外部 ※B種・ ※A種・ 部内部 ※B種・ ※B種・ 銅面 ※B種・ - A種 ※B種		・アスペスト合列成形板の除去 除去対象範囲 ※図示	
	試験の手間は、試験体を20±2での水中に188時間接せきした後、直ちに一20±2での 恒温器中で3時間冷却し、次いで50±2°0の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間 を1サイクルとする操作を10回接返した後、試験拡上2時間静雪し、ひび割れ及び離れ		・		塗料の種別 ※1種 ・2種 亜釘	部的っき調面 ※B種・ ※B種・ 調節課具以外)		除去した/アスペスト含有成形板の処分 単放工事により発生する石線を含む庚葉物は、下記の処分先を見込んでいる。	
	を「ワイクルでする性性を10回数300元候、試験第二点性能軽量し、ひられた及び影化 の有無を目標によって調べる。 (温冷機返し後を1被き試験方法)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル	2.5 軽量鉄骨壁下地	形状及び寸法		亜針	船めっき銅面 ※A種・ ※B種・ 銅製雑員)		処分場所 () 運搬距離 () 受入条件 (※平日受入))	
	(通行映放上坡の接着加さ試験方法) 「七サイフタイル」及び「ハロタイル・一」指サイル とも、各々温池値域と試験完了後の試験体を標準状態で2日間幹置養生した後、標準時 の接着独立試験方法と同様に行う。(全てが0.4K/m ²² 以上)	1	/ ※標準仕様書表 6、7、1のスタッドの高さによる区分・		・クリアラッカー塗り (CL) 木倉			・アスペスト含有石こうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・アスペスト含有せっこうボードを除くアスペスト含有成形板	
1 /	◇ 長さ変化率 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化粉粉末樹脂」9.9 長さ	2.6 せっこうボードその他 ボード及び合板張り	神類 JIS 厚さ (nm) , 規格等		鉄部車的	側面 表7.6.2 船めっき網面 表7.6.3		・アスペスト言句ゼラーフホートと取くアスペスト言句は形成 ・理立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶散修施) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい	
	変化率に準ずる。 ト) 曲げ強さ	ホード及び合根値り [6.13.2,3]	- 研覧本毛セメント板 HW ・15 ・20 ・25 ・		・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り 屋内 (NAD)	9の2/パー画 ・モルタル面 ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種		場合は、監督員と協議すること。	
16 既製調合日地村	JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ独さ試験に準ずる。 (品質・性能)		・中質木毛セメント板 MW -15 · 20 · 25 · . ・普選木毛セメント板 NW -15 · 20 · 25 · . ・ 20 · 25 · . -25 · .			上塗り・C種], /	・アスペスト含有任止塗材等(下地調整塗材も含む)の除去 除去対象範囲 ※図示 ・ 除去工法 ※「建造物の改修・解体時における石締含有建築用仕上塗材からの石締粉じん	
[6. 15. 4]	項目 保水率 30.096以上		・優選木片セメント板 HF -12 · 15 · 18 · 21 · ・普通木片セメント板 NF ・けい機カルシウム板 0. RK タイプ2 (無石線) · 6 · 8		.	· 1級 · 2級 ②3級		※「無疾病の必要・無料所における口味の利益気付に工業外からの口味がしん 発散が此処理技術指針」「記載の粉じん飛散防止に関し隔離措置と同等の 措置と判断できる工法	
	長玄玄化率 0.2%以下(収縮) 極水量 50以以下 単位等荷量 1.8%/以上		1.0 km 94 72 (無石線)		亜鉛	53 版 船めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ※ A種 上塗り ・ C種		除去したアスペスト含有仕上塗材等の処分 当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。	
	(試験方法)		1.0FK			· 1級 · 2級		知分場所() 運搬距離() 受入条件(※平日受入 ・)	
	(1) 試験の条件 試験室は、温度20±2°C、湿度65±5% 耐の標準状態とする。また、試験に使用する材料、高泉などを、予めた49階間に上標準水面に置いた後使用する。(2) 試料の調整 正映質量と標準繰り上が引量より、10~1、21の試算を接り上げるのに要する材		・凹凸タイプ (・12(不燃)・15(不燃)・) ・ロックウール吸音ボード1号 RN-B ・25 ・			・3級 ンクリート面 ・A - 1種 ・A - 2種		・理立処分(・安定型最終処分場・管理型最終処分) ・中間処理(溶離施設又は無害化処理施設)	
	(2) 区科の誘致 止味質量と標準繰り上がり重より、1,0~1,2:の区科を繰り上げるのに長する村料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の続り 選ぜ水を計算して用意する。 練り器ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」10,11に減		・せっこうボード (BB-R ※12.5(不燃) ・15(不燃)		Tan Cir.	· B − 1種 · B − 2種 · C − 1種 · C − 2種 比成形がが板面 · A − 1種 · A − 2種	2 01 105 00 30-005 100	なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい 場合は、監督員と協議すること。	
1 /	定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、撹拌しながら30秒間に材料を投 入し3分間練り混ぜて試料とする。	/	- 不燃機器せつこうボード GB-NO 9.5 (不燃) 化粧楠 (下地桶 9月) (市 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		押出	HIRDSHOVHATE	2 外断熱改修工事 [9. 3. 2~4]	断熱材 種類 厚さ (mm) ・ ピーズ法ポリスチレンフォーム保温材	
//	(3) 保水性 (ろ紙法) JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (線200mm、横200mm、厚き5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 A 3 (線200m、 (2010) スタッカラが、アンターをかりかり、アンターをかりかりかり、アンターをかりかりででは、アンターをかりかりかりでは、アンターをかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかり	/	・ジーシングせつニ カボード (88-1 ・12.5 (・不然 ・赤中原) ・強化せっこうボード (88-1 ・12.5 (不勝) ・15 (不勝) ・せっこうラスボード (88-1 9.5			内木部 ※B種・ ※A種 内飲銅面 ※B種・ ・A種・B種	/	・	_
1 1/1	ろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚 さ3mm)を設置し、2)で練り混ぜた試料を全べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング	/	・化粧せつこうボード (木目) 12.5(不燃) 4440m程度 線権(・折日 ・振日) 専用下途材有り		(EP-G) 屋内	大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪	/	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1 / 1	型わく上部にガラス板を当て上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静雲する。 10分後にろ続へにじみ出した水分の広がりが膨大と認めたれた方向とこれに直角な方向の長 さをノイスを用いて1mmで割皮する。 試験は3回実施し、その中知様を用いて次式により		- 化粧せっこうボード (トラパーチン模様) 68-D 9.5(準不徳) - 普通合板 表面の根種		モル ブラ	ルタル面 ※B種 · ・A種 ・B種 ラスター面 ※B種 · ・A種 ・B種	/	・ロックウール ・グラスウール	_
	保水率を求める。 保水率 (%) =50/平均値×100 注) 50: リング型わくの内径 (mm) (4) 単位容積質量 (2) で練り湿ぜた試料を、JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方	1/1	生地 透明塗料塗り(※ラワン程度 -) 不透明塗料塗り(※しな程度 -) 牧函の品質() 厚き(m) ()		・合成樹脂エマルションペイント塗り 塗装		/	斯翰材の種類 () 斯翰材の厚さ (mm) 施工箇所 ・図示	_
1/	法」の6.3に規定する方法で求める。 (5) 長さ変化率 (2) で顕粋した試料を用いてJIS A 1171の7.6長さ変化率試験に従って行う。	1/11	接着の程度 (・1類 ・2類)		モル	ンクリート面 ※B種 · · · A種 · B種 ルタル面 ※B種 · · · A種 · B種	1	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・	
<u>/ </u>	(6) 吸水量 (3) で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」10. に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。	<u>/ </u>	- 防虫処理	1.00	tt :	ラスター面 ※B種 ・ ・			
特記事項	訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号	JOB. N	O. DATE 2020. 08.	SCALE TITLE	小西住宅 4 号棟タ	外壁等改修工事 NO.	図面縮小率
			岡田建築設計事務	所一叶	P L. DR.	NAME		A /	A-2 : 100%
			一級建築士 第102449号 岡田文夫				建築改修工事特訂	記仕様書(4)	A-3 : 71%
			柳双王来上 为102年8万 岡田大大						A-4 : 50%





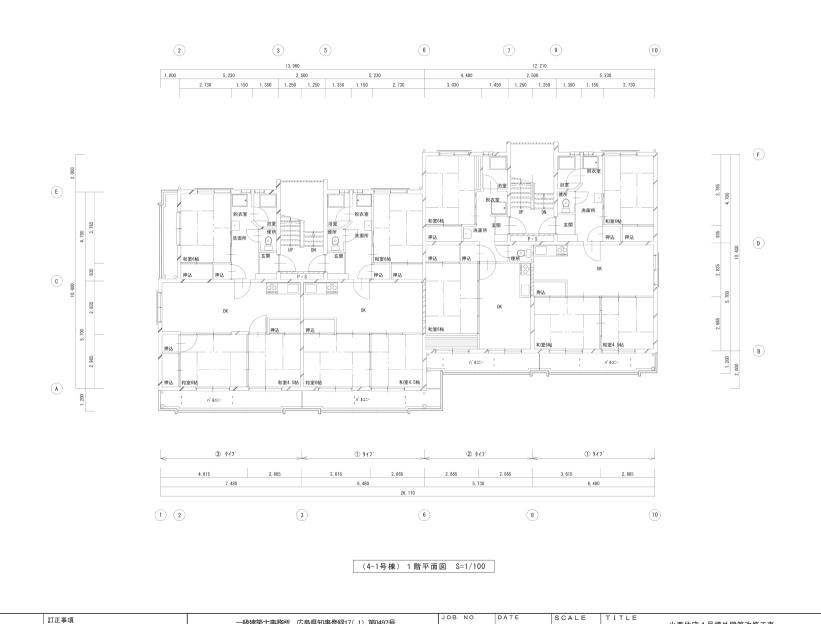




		改修前	改 修 後	
号場所・部位	下地	仕 上	仕 上	備考
① 根回り	C M	コンクリート打放し(高圧水洗浄) モルタル金コテ(高圧水洗浄)	複層塗材E吹付(新設) ハツリ部分モルタル金コテの上複層塗材吹付(新設)	
② 外壁・パラペット 軒鼻・バルコニー壁	С	アクリルリシン吹付(高圧水洗浄) コンクリート打放し(既設)	復層塗材E吹付	
③ 物置外壁	С	アクリルリシン吹付(高圧水洗浄) PC板 (既設)	復層塗材E吹付	
4 軒裹	С	アクリルリシン吹付(高圧水洗浄) コンクリート打放し (既設)	復層塗材E吹付	
5 庇裏	С	アクリルリシン吹付(高圧水洗浄) コンクリート打放し(既設)	復層塗材E吹付	
⑥ バルコニー天井	С	アクリルリシン吹付(高圧水洗浄) コンクリート打放し (既設)	復層塗材E吹付	
⑦ バルコニー床	М	防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ポリマーセメント系塗膜防水	
8 窓台	М	防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)	
9 面台 庇(上部分・見付・小口	M M	防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)	
10 物置屋根	С	PC板 (高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	
⑪ バルコニー・窓手すり	鋼製	SOP(下地処理)	DP塗替え	
12 隔で板	鋼製 大平村		DP塗替え ケイカル板. t = 6.0 DP塗装 (新設) 、避難用ステッカー貼替	
③ 物干し金物	鋼製	SOP(下地処理)	DP塗替え (4-2号棟1階1ヶ所新設)	
分電盤等	鋼製	焼付塗装(下地処理)	DP塗替え	
15 縦樋(北側) 軒樋	VP	塩化ビニールパイプ (撤去処分) 塩ビ製w150 (撤去処分)	カラーVP φ 100及び塩ビ製軒樋 w 150に取替 掴み金物共SUS (新設)	
16 保護管	鋼製	SGP125 φ (撤去処分)	SGP125φDP塗装 掴み金物共 (SUS) (新設)	
① 縦樋 (バルコニー側)	VP	塩化ビニールパイプ(撤去処分)	カラーVP φ 100、 φ 75に取替	
18 棟番号表示	s	鋼製SOP 2ヶ所 600×300 (撤去処分)	鋼製 t = 6.0 DP 2ヶ所 600×300 (新設)	
4-1号棟 階数表示板、室4-2号棟 階数表示板、室		階数表示 8ヶ所、室名札 16ヶ所(撤去処分) 階数表示 6ヶ所、室名札 12ヶ所(撤去処分	階数表示板 (SK600A)8ヶ所、室名札 (SK-602W-2) 16ヶ所 (新協和同等品)階数表示板 (SK600A)6ヶ所、室名札 (SK-602W-2) 12ヶ所 (新協和同等品)	
20 階段室	C M	壁、階段裏コンクリート打ち放しの上アクリルリシン吹付(高圧水洗浄) 腰壁 モルタル金コテの上EPA(ケレン)	複層塗材E吹付	
② 階段室天井		大平板 t=5.0 アクリルリシン吹付(下地処理)	復層塗材E吹付	
② 自転車置場	s	屋根:小波スレート(撤去処分)、鉄部:SOP塗(下地処理)	屋根:小波スレート(新設)、DP塗替え	
23 階段室 (P・Sドア)	s	SOP塗(下地処理)	DP塗替え	
29 玄関ドア	s	SOP塗(下地処理)	DP塗替え	
特記事項			企 類面下地調整	凡 例 SOP 合成樹脂調合ペイント
「アコン安め場 4_1号簿 12ヶ所		ホ T谷作動施設 その他別様	・	50P

				ויפו אינ	
特記事項		塗装面	下地調整	SOP	合成樹脂調合ペイント
・エアコン室外機 4-1号棟 12ヶ所 一時移転再取付施工後作動確認	その他外構	(1)	亜鉛メッキ面の下地調整RB種30%の上、鉛酸カルシウム鋳止め、現場全面1回塗り	AE (VP)	塩化ビニル樹脂エナメル
・エアコン室外機 4-2号棟 11ヶ所 一時移転再取付施工後作動確認		(口)	鋼製建具面の下地調整RB種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り	C	コンクリート
・BSアンテナ 4-1号棟 4ヶ所 一時移転後再取付		(11)	モルタル・ボード面の下地調整RB種30%	M	モルタル
・BSアンテナ 4-2号棟 3ヶ所 一時移転後再取付		(=)	鉄面の下地調整RB種30%の上、錆止め塗料A種、錆止め塗料塗りC種	S	鋼製
・外部建具: 建具周囲シーリング打替(共通)		(木)	VE (VP) 管の下地調整 汚れ付着除去程度	EP-G	合成樹脂エマルジョンペイント
・ガラスクリーニング (共通)		(=)	アルミ面は、脱脂、エッチング、スマット除去溶剤、クロメート系化成皮膜処理材	DP	耐候性塗料

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	小西住宅 4 号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率
		岡 田 建 築 設 計 事 務 所	CH. PL	2020. 08. D R.		NAME		A /	A-2 : 100%
							外部仕上表	10	A-3 : 71%
		一級建築士 第102449号 岡田文夫						′	A-4 : 50%



一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号

一級建築士 第102449号 岡田文夫

岡田建築設計事務所

図面縮小率

A-2:100%

A-3: 71%

A-4: 50%

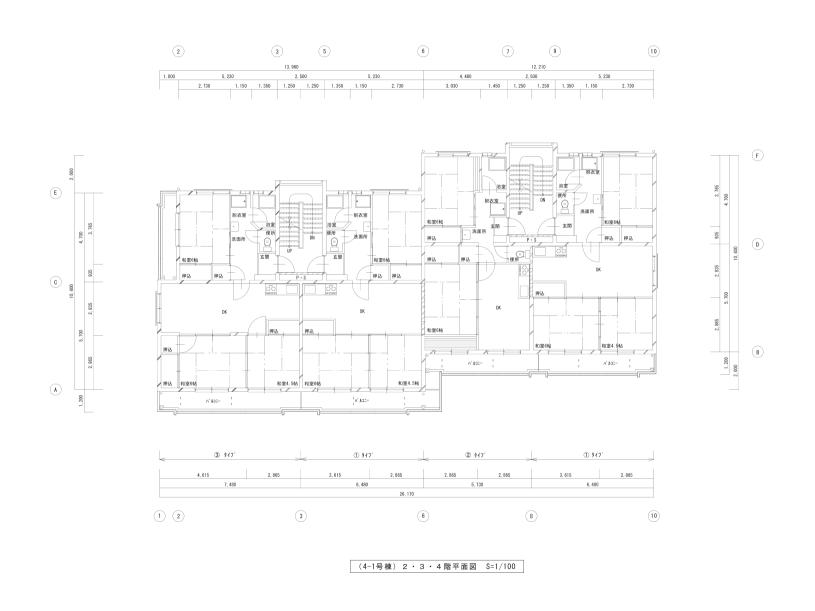
小西住宅 4 号棟外壁等改修工事

(4-1号棟) 1階平面図

NAME

1/100

特記事項



一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号

一級建築士 第102449号 岡田文夫

岡田建築設計事務所

特記事項

訂正事項

SCALE

1/100

DATE

TITLE

NAME

小西住宅 4 号棟外壁等改修工事

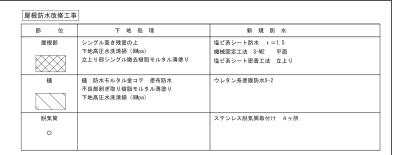
(4-1号棟) 2・3・4階平面図

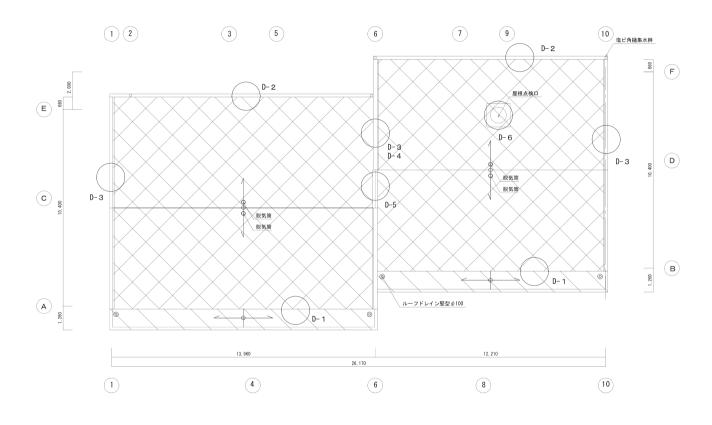
図面縮小率

A-2:100%

A-3: 71%

A-4: 50%

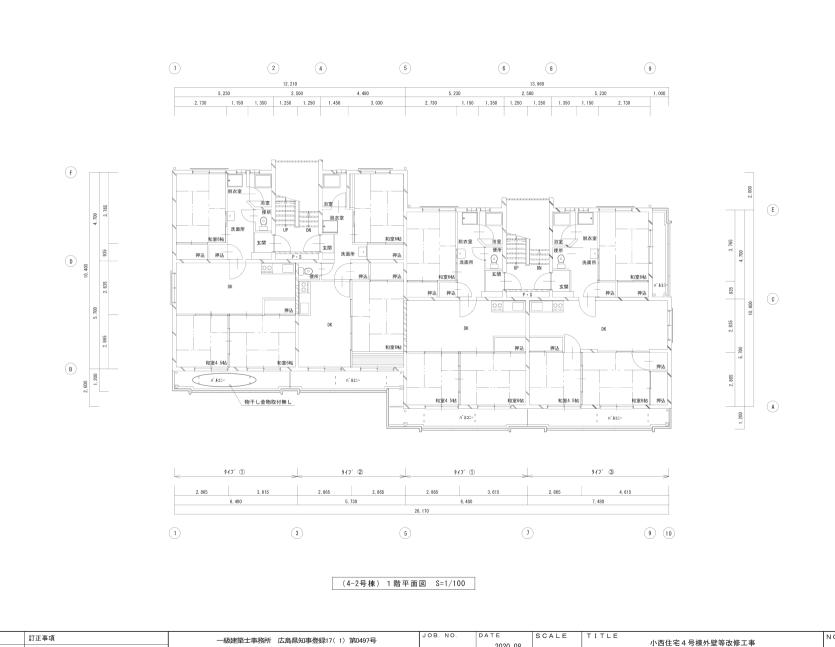




(4-1号棟)屋根伏図 S=1/100

4号棟① 屋根伏せ図 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	小西住宅 4 号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率
		岡田建築設計事務所	CH. P	2020. 08. L. DR.	1/100	NAME	. == 5 . 7 ((0.1 ± 0.4 (0.1 ± 0.4 (0.1 ± 0.	A /	A-2 : 100%
					1/100	I TAME	(4−1号棟)屋根伏図	13	A-3 : 71%
		一級建築士 第102449号 岡田文夫					(TI)W/ ERNE	'	A-4 : 50%



NAME

(4-2号棟) 1階平面図

1/100

岡田建築設計事務所

一級建築士 第102449号 岡田文夫

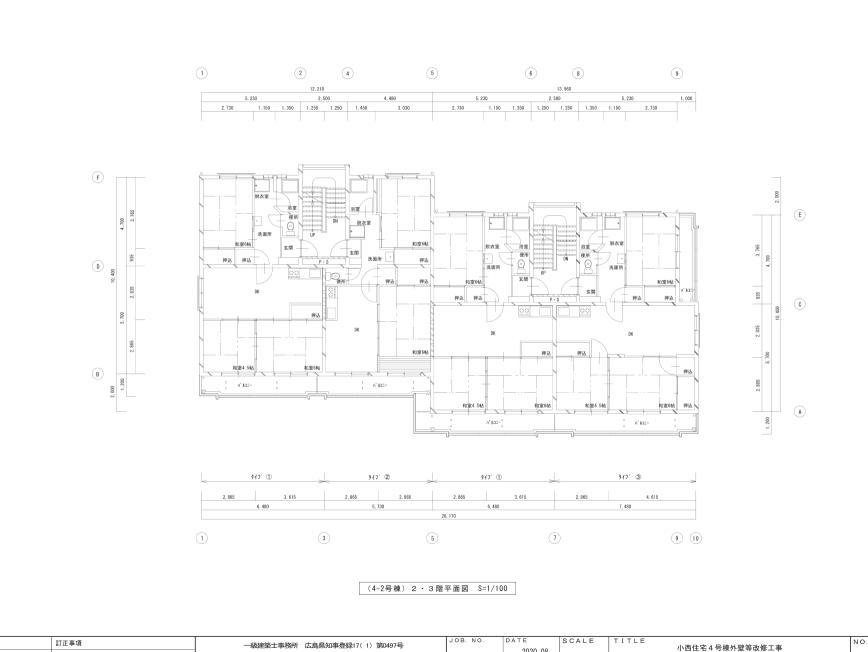
図面縮小率

A-2:100%

A-3: 71%

A-4: 50%

特記事項



NAME

(4-2号棟) 2・3階平面図

1/100

岡田建築設計事務所

一級建築士 第102449号 岡田文夫

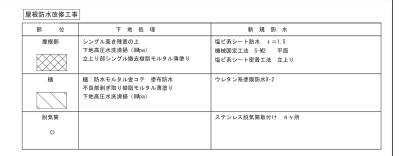
図面縮小率

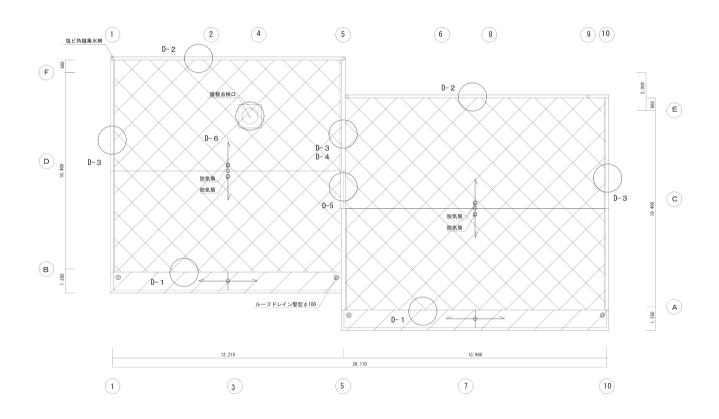
A-2:100%

A-3: 71%

A-4: 50%

特記事項

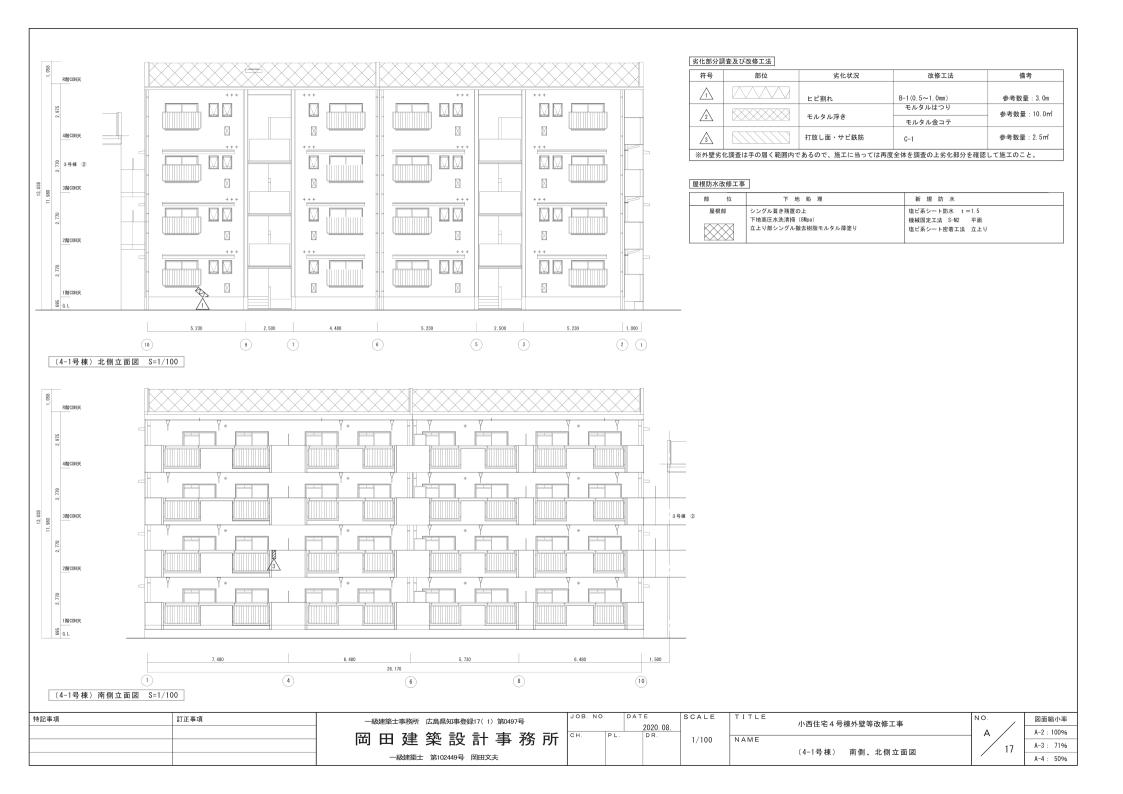




(4-2号棟)屋根伏図 S=1/100

4号棟② 屋根伏せ図 S=1/100

特記事項 訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号	JOB. NO.	DATE	020. 08.	SCALE	TITLE	小西住宅 4 号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率
	岡田建築設計事務所	СН.	PL. D	DR.	1/100	NAME		A /	A-2 : 100%
	一 四 任 未 成 山 争 扬 //1				17 100	I NAME	(4-2号棟)屋根伏図	16	A-3: 71%
	一級建築士 第102449号 岡田文夫						(4-25保) 座依认因		A-4 : 50%





一級建築士 第102449号 岡田文夫

外部改修仕上表

	X1911_1X	75 44 44	The Mar 66
番号	部 位	改修前	改修後
1	根回り	仕上:コンクリート打放し(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
		仕上:モルタル金コテ(高圧水洗浄)	仕上:ハツリ部分モルタル金コテの上複層塗材吹付(新設)
(2)	外壁・パラペット	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
Ľ	軒鼻・バルコニー壁	下地:コンクリート打放し(既設)	
(3)	物置外壁	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付 (新設)
9	初旦が至	下地:PC板(既設)	
	ar w	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
4	軒裏	下地:コンクリート打放し(既設)	
		仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
5	庇裏	下地:コンクリート打放し(既設)	
		仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
6	バルコニー天井	下地:コンクリート打放し(既設)	
		T-B: -377 Tilling Commun.	
7	バルコニー床	仕上:防水モルタル金コテ (高圧水洗浄)	ポリマーセメント系塗膜防水
8	窓台	仕上:防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)
	_,		
(9)	面台	仕上:防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)
	庇(上部分・見付・小口)		
(10)	物置屋根	PC板 (高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)
		PU板(高庄水沈冲)	
(11)	バルコニー・窓手すり	鋼製SOP(下地処理)	DP塗替え
W W	ハルコニー・窓手すり	期級SUP(下地处理)	DF空管ス
	= -1=	鋼製SOP(下地処理)	DP塗替え
(12)	隔て板	大平板 (撤去処分))	ケイカル板. t = 6.0 DP塗装 (新設)
	物干し金物	鋼製SOP(下地処理)	DP塗替え
(13)	物干し金物(4-2号棟1階)	物干し金物無し1ヶ所	物干し金物(新設)1ヶ所
	M 1 0 m M 1 1 2 M 1 M	13 1 0 II 13 11 13 11 13 11 13 11 13 11 13 11 13 11 13 11 13 13	13 1 0 11 13 (4)(112)
(14)	分電盤等	焼付塗装(下地処理)	DP塗替え
	縦樋 (北側)	塩化ビニールパイプ(撤去処分)	カラ―VP φ 100及び塩ビ製軒樋 w 150に取替
(15)			
	軒樋	塩ビ製w150 (撤去処分)	掴み金物共SUS(新設)
16	保護管	SGP125φ(撤去処分)	SGP125 φ DP塗装 掴み金物共SUS (新設)
(17)	縦樋 (バルコニー側)	塩化ビニールパイプ (撤去処分)	カラーVPφ100、VP75に取替
	100.00		掴み金物共SUS(新設)
(18)	棟番号表示	鋼製SOP 2ヶ所 600×300 (撤去処分)	鋼製 t = 9.0 DP 2ヶ所 600×300 (新設)
	休田づ奴小	新版(601 2.7 17) 000×000 (版及及27)	simple t = 3.0 bi 2.717 000 x 000 (3/152)
(19)	4-1号棟 階数表示板、室名札	階数表示 8ヶ所、室名札 16ヶ所(撤去処分)	階数表示板 (SK600A)8ヶ所、室名札 (SK-602W-2) 16ヶ所
(13)	4-2号棟 階数表示板、室名札	階数表示 6ヶ所、室名札 12ヶ所(撤去処分	階数表示板 (SK600A)6ヶ所、室名札 (SK-602W-2) 12ヶ所
	Mk co ata	壁、階段裏コンクリート打ち放しの上アクリルリシン吹付(高圧水洗浄	ASSESSED IN CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF THE
20	階段室	腰壁 モルタル金コテの上EPA(ケレン)	複層塗材E吹付
21)	階段室天井	大平板 t=5.0 アクリルリシン吹付(下地処理)	複層塗材E吹付
		屋根:小波スレート(撤去処分)	
22	自転車置場		屋根:小波スレート(新設)、DP塗替え
		鉄部:SOP塗(下地処理)	
23	階段室 (P・Sドア)	SOP塗(下地処理)	DP塗替え
_		OOD (AT U. M. TIII)	
(24)	玄関ドア	SOP塗 (下地処理)	DP塗替え
L			
	の八頭木ひがためては		

劣化部分調査及び改修工法

符号	部位	劣化状況	改修工法	備考					
1		ヒビ割れ	B-1 (0, 5~1, 0mm)	参考数量: 3.0m					
	KXXXXXXX	モルタル浮き	モルタルはつり	参考数量:10.0m ²					
/2		モルメルチさ	モルタル金コテ	参与数里 . 10. 0III					
3 打放し面・サビ鉄筋 C-1 参考数:									
※外壁劣	※外壁劣化調査は手の届く範囲内であるので、施工に当っては再度全体を調査の上劣化部分を確認して施工のこと。								

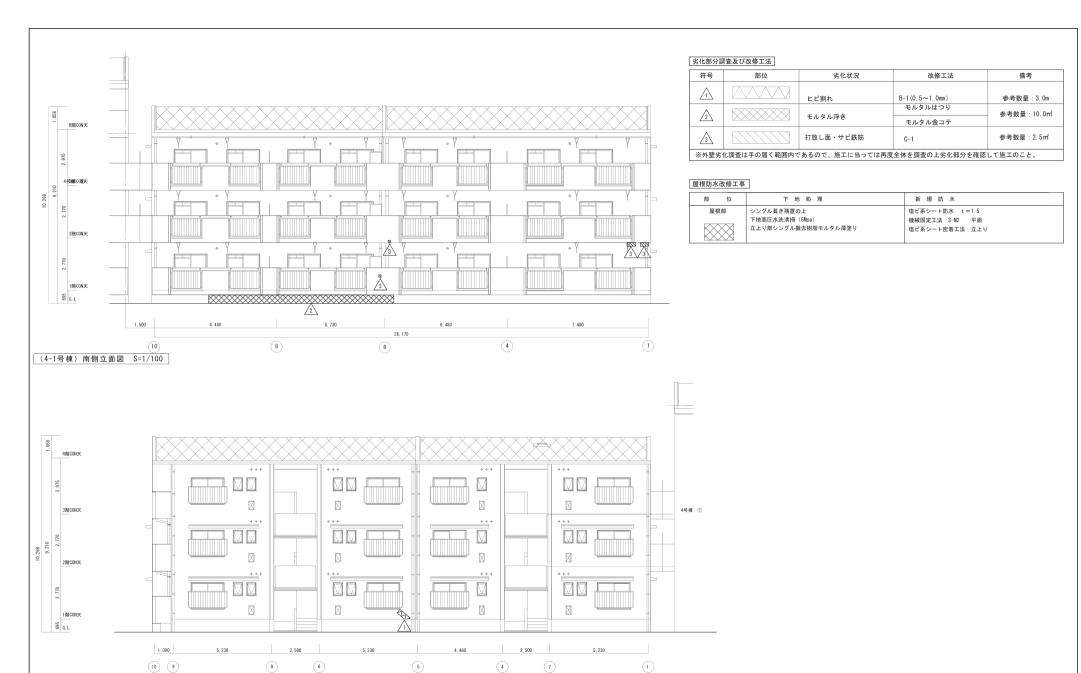
図面縮小率

A-2:100%

A-3: 71%

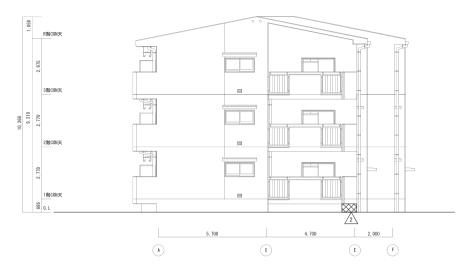
A-4: 50%

OB. NO.		DAT	E	SCALE	TITLE			
			2020. 08.			小西住宅4号	棟外壁等	· 改修工事
	PL.		DR.	1				
п.	PL.		DR.	1/100	NAME			
						(4-1号棟)	東側、	西側立面図

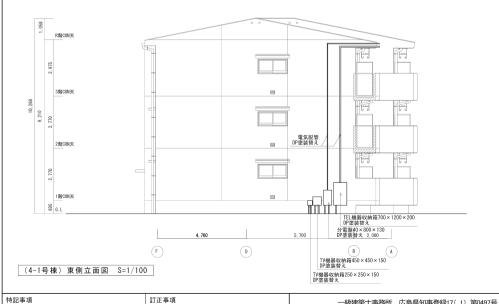


(4-1号棟) 北側立面図 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号	TOOB. NO		SCALE	11166	小西住宅 4 号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率
			СН	2020. 08.	-		1 LE 0 : 5 W/1 E 1 4 W/2 - 7	A /	A-2:100%
		岡田建築設計事務所		 	1/100	NAME		10	A-3 : 71%
		一級建築士 第102449号 岡田文夫					(4-2号棟) 南側、北側立面図	/ 19	A-4 : 50%



(4−1号棟)西側立面図 S=1/100



10 T - X	m = T-X	一級建築工事務所 公局県知事登録 八 1) 第049 / 亏
		岡田建築設計事務所
		岡田建築設計事務所
		一級建築士 第102449号 岡田文夫

JOB. NO.		DAT		SCALE	TITLE	小西住字4号	棟外壁等改修工事	NO.		図面縮小率
CH.	PL.		2020. 08. DR.	1/100		1000	W1 = 1 & B = 7	Α		A-2:100%
				1/100	NAME	(4-2号棟)	東側、西側立面図	/	20	A-3 : 71%
						(4-25 休)	来侧、四侧立面四	′		A-4 : 50%

外部改修仕上表

番号	部 位	改修前	改修後
(1)	根回り	仕上:コンクリート打放し(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
1 1	仮回り	仕上:モルタル金コテ(高圧水洗浄)	仕上:ハツリ部分モルタル金コテの上複層塗材吹付(新設
	外壁・パラペット	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
2	軒鼻・バルコニー壁	下地:コンクリート打放し(既設)	
	44.99.41.00	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
3	物置外壁	下地:PC板(既設)	
(4)	*T m	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
4	軒裏	下地:コンクリート打放し(既設)	
(5)	庇裏	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
9	此表	下地:コンクリート打放し(既設)	
	./u T#	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
6	バルコニー天井	下地:コンクリート打放し(既設)	
	./u = - #	ひと 防むエリカリ会士 (京広北洋海)	ポリマーセメント系塗膜防水
7	バルコニー床	仕上:防水モルタル金コテ(高圧水洗浄) 	ホリマーセメント系塗膜防水
(8)	窓台	仕上:防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)
•		111: 切水モルタル並コテ (商圧水流冲)	プレダンコム未至展防水(ハー2)
(10)	面台	 仕上:防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	 ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)
19	庇(上部分・見付・小口)	は工: 関水 にルクル並コ / (商圧水ル件)	プレアンコム宗至族例が(パ2)
(11)	バルコニー・窓手すり	鋼製SOP(下地処理)	DP塗替え
	7004- 25777	MARCON (TABLE)	10 至日九
(12)	隔て板	鋼製SOP(下地処理)	DP塗替え
	HI C IA	大平板 (撤去処分))	ケイカル板. t = 6.0 DP塗装 (新設)
(13)	物干し金物	鋼製SOP(下地処理)	DP塗替え
	物干し金物 (4-2号棟1階)	物干し金物無し1ヶ所	物干し金物(新設)1ヶ所
(14)	分雷盤等	 焼付塗装(下地処理)	 DP途替え
	23 sem s	WITH A CT PAGE	57. 至百元
(15)	縦樋 (北側)	塩化ビニールパイプ(撤去処分)	カラーVP φ 100及び塩ビ製軒樋 w 150に取替
	軒樋	塩ビ製w150 (撤去処分)	掴み金物共SUS(新設)
16)	保護管	SGP125 φ (撤去処分)	 SGP125 φ DP塗装 掴み金物共SUS (新設)
	PAGE EI	The first of the second of the	
(17)	縦樋 (バルコニー側)	 塩化ビニールパイプ(撤去処分)	カラーVP φ 100、VP75に取替
L	700.00		掴み金物共SUS(新設)
(18)	棟番号表示	 鋼製SOP 2ヶ所 600×300 (撤去処分)	鋼製 t = 9.0 DP 2ヶ所 600×300 (新設)
Ľ			
(19)		階数表示 8ヶ所、室名札 16ヶ所(撤去処分)	階数表示板 (SK600A)8ヶ所、室名札 (SK-602W-2) 16ヶ所
Ľ.	4-2号棟 階数表示板、室名札	階数表示 6ヶ所、室名札 12ヶ所(撤去処分	階数表示板 (SK600A)6ヶ所、室名札 (SK-602W-2) 12ヶ所
20	階段室	壁、階段裏コンクリート打ち放しの上アクリルリシン吹付(高圧水洗浄) 複層塗材E吹付
L.		腰壁 モルタル金コテの上EPA(ケレン)	
(21)	階段室天井	大平板 t=5.0 アクリルリシン吹付(下地処理)	 複層塗材E吹付
\coprod			
1			

番号	部 位	改修前	改 修 後
1	根回り	仕上:コンクリート打放し(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
U	1区回り	仕上:モルタル金コテ(高圧水洗浄)	仕上: ハツリ部分モルタル金コテの上複層塗材吹付(新設
(2)	外壁・パラペット	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
~	軒鼻・バルコニー壁	下地:コンクリート打放し(既設)	
(3)	物置外壁	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
9	物胆が室	下地:PC板(既設)	
(4)	軒裏	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
4	*T表	下地:コンクリート打放し(既設)	
(5)	庇裹	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
9	此表	下地:コンクリート打放し (既設)	
<u></u>	./n ==	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
6	バルコニー天井	下地:コンクリート打放し(既設)	
Ī	バルコニー床	仕上:防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ポリマーセメント系塗膜防水
8	窓台	仕上:防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
9	面台 庇(上部分・見付・小口)	仕上:防水モルタル金コテ(高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)
10	物置屋根	PC板 (高圧水洗浄)	ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
11)	バルコニー・窓手すり	鋼製SOP(下地処理)	DP塗替え
12)	隔で板	鋼製SOP(下地処理) 大平板(撤去処分))	DP塗替え ケイカル板. t = 6.0 DP塗装 (新設)
	物干し金物	鋼製SOP(下地処理)	DP塗替え
(13)	物干し金物 (4-2号棟1階)	物干し金物無し1ヶ所	物干し金物(新設)1ヶ所
14)	分電盤等	焼付塗装(下地処理)	DP塗替え
	縦樋 (北側)	塩化ビニールパイプ(撤去処分)	カラーVP φ 100及び塩ビ製軒樋 w 150に取替
(15)	軒樋	塩ビ製w150 (撤去処分)	掴み金物共SUS(新設)
_			
16	保護管	SGP125φ(撤去処分)	SGP125 φ DP塗装 掴み金物共SUS (新設)
			カラーVPφ100、VP75に取替
11)	縦樋(バルコニー側)	塩化ビニールパイプ(撤去処分)	掴み金物共SUS(新設)
18	棟番号表示	鋼製SOP 2ヶ所 600×300 (撤去処分)	鋼製 t =9.0 DP 2ヶ所 600×300 (新設)
	4-1号棟 階数表示板、室名札	階数表示 8ヶ所、室名札 16ヶ所(撤去処分)	階数表示板 (SK600A)8ヶ所、室名札 (SK-602W-2) 16ヶ月
(19)	4-2号棟 階数表示板、室名札	階数表示 6ヶ所、室名札 12ヶ所(撤去処分	
20	階段室	歴、階段裏コンクリート打ち放しの上アクリルリシン吹付(高圧水洗浄 腰壁 モルタル金コテの上EPA(ケレン)	複層塗材E吹付
21)	階段室天井	大平板 t=5.0 アクリルリシン吹付(下地処理)	複層塗材E吹付
22	自転車置場	屋根:小波スレート(撤去処分) 鉄部:SOP塗(下地処理)	屋根:小波スレート(新設)、DP塗替え
23	階段室 (P・Sドア)	SOP塗(下地処理)	DP塗替え
29	玄関ドア	SOP塗(下地処理)	DP塗替え

※空調室外機(床置き4-1号棟)12台(脱着)工事後作動確認のこと。 ※空調室外機(床置き4-2号棟)11台(脱着)工事後作動確認のこと。

※BSアンテナ 4-1号棟 4台一時移転後再取付 ※BSアンテナ 4-2号棟 3台一時移転後再取付

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号

岡田建築設計事務所



n* #a==

塗膜防水範囲 塩ビ鋼板取付 (L型プレート150*100)

ハールコニー

和室4.5帖

和室4.5帖

吊り金物 DP塗替え

① バルコニー手すり (DP塗替え)

> ② 呼樋:カラ-VP35 取替え

(3) 物干し金物 (DP塗替え) (2) 隔て板枠 (DP塗替え)

Ψ	
TITLE 小西住宅 4 号棟外壁等改修工事	NO.
	Δ
NAME	, ,
(4号棟) 矩計図	

和室6帖

塩ピ鋼板取付 (L型プレート150*100) RF. L

3·4F.L Con天

2F.L Con天

1F.L Con天

図面縮小率

A-2:100%

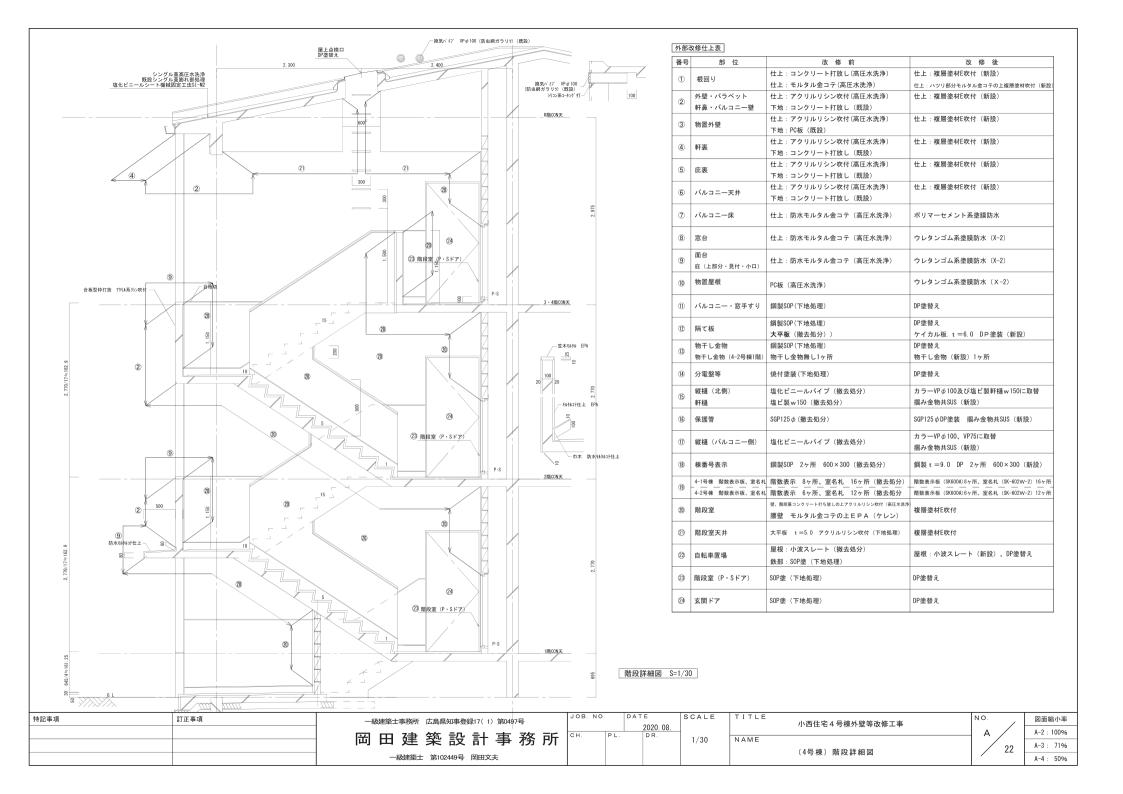
A-3: 71%

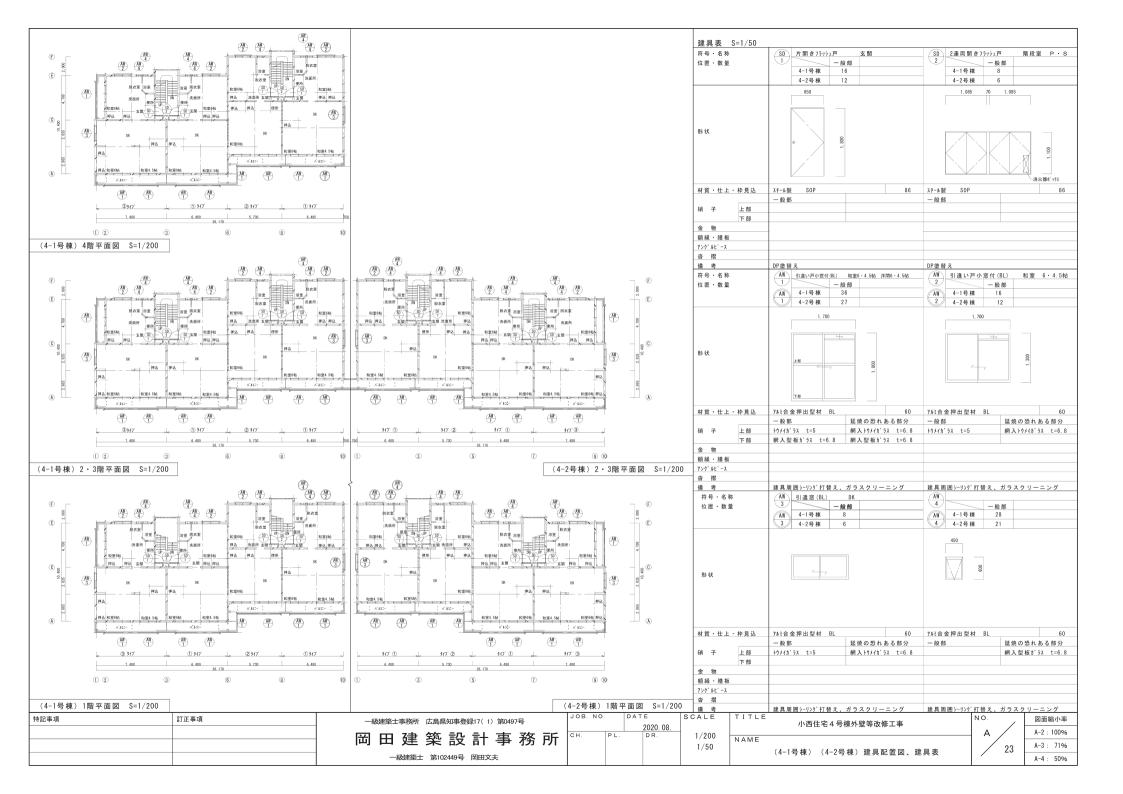
A-4 : 50%

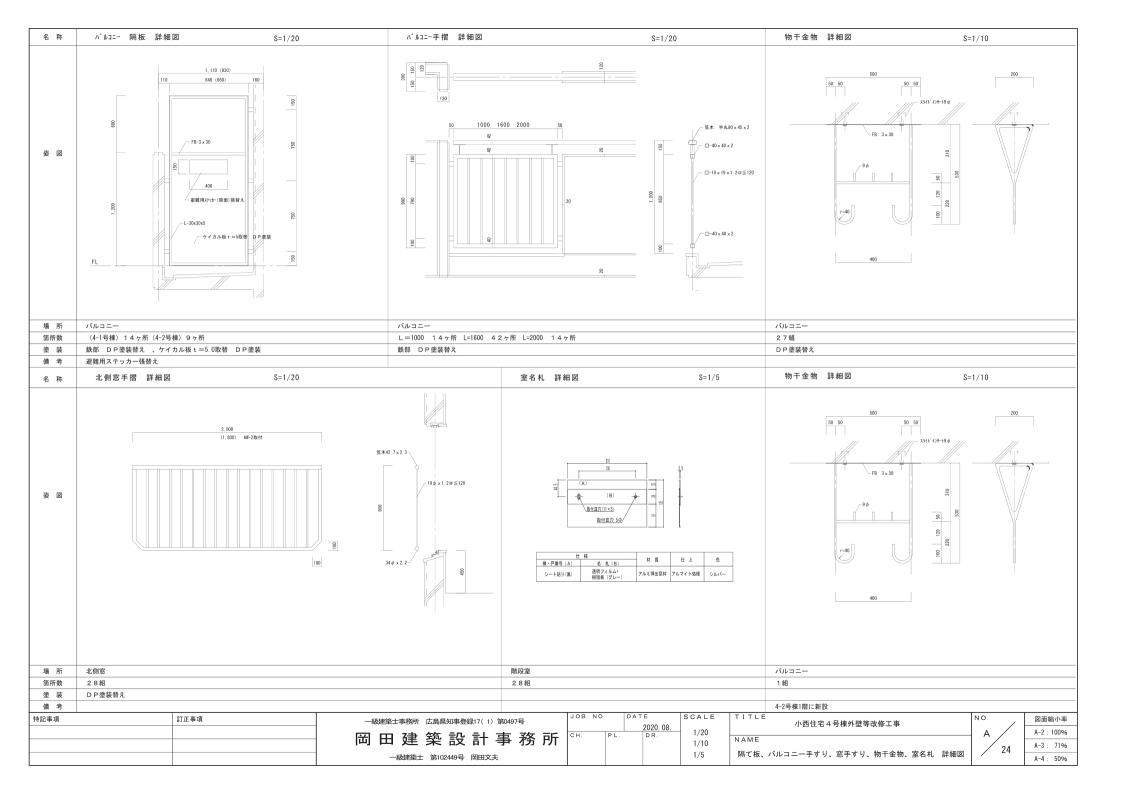
G. L

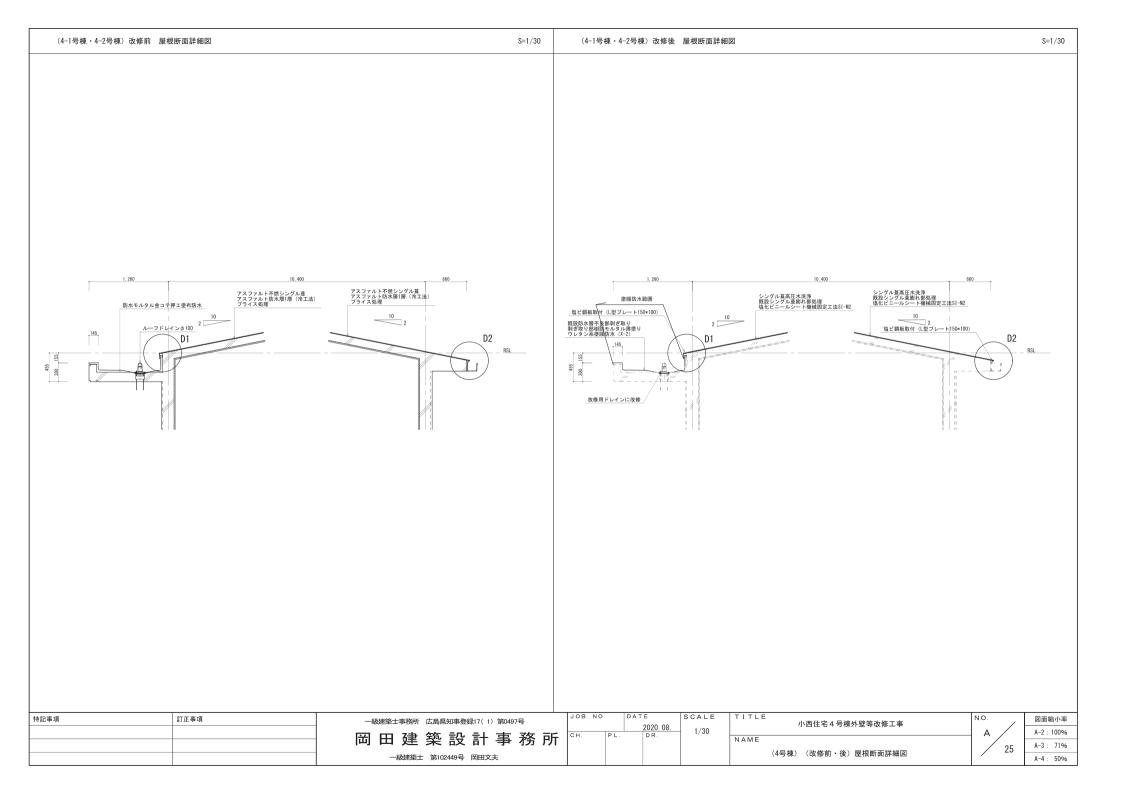
(5) 縦樋:カラーVP100 取替えSUS掴み金物共

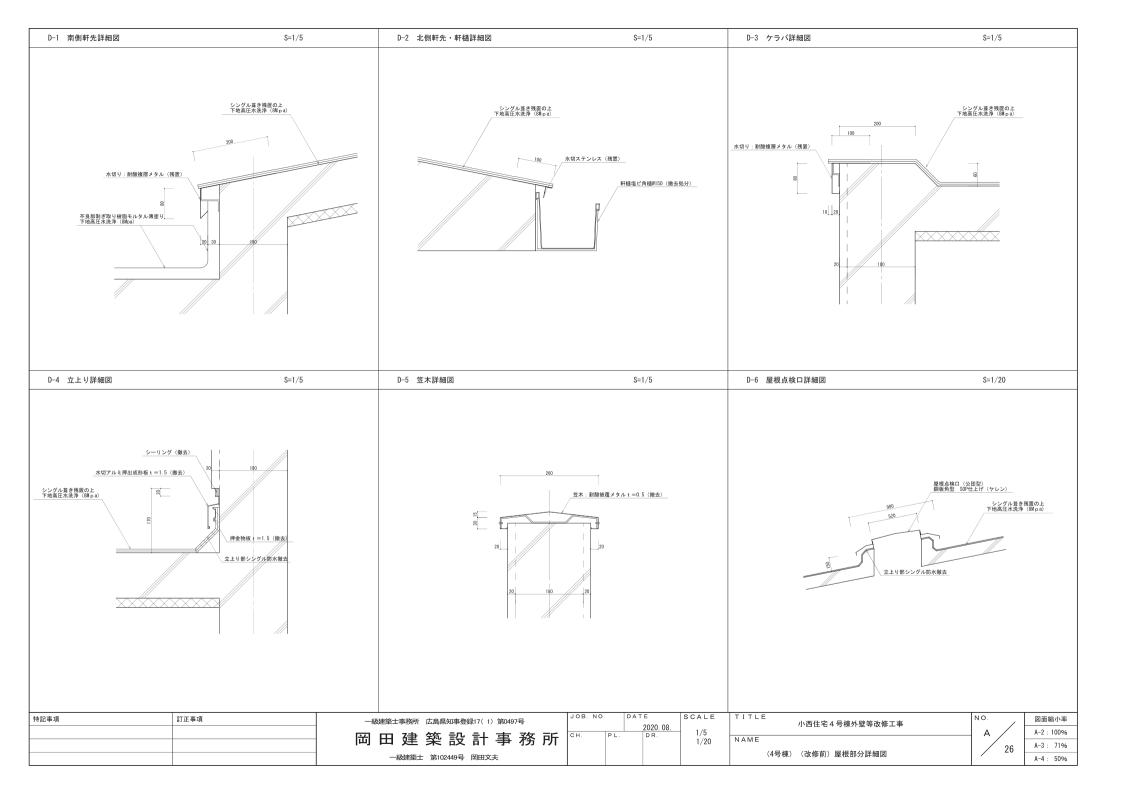
保護管SGP125A 取替SUS掴み金物共

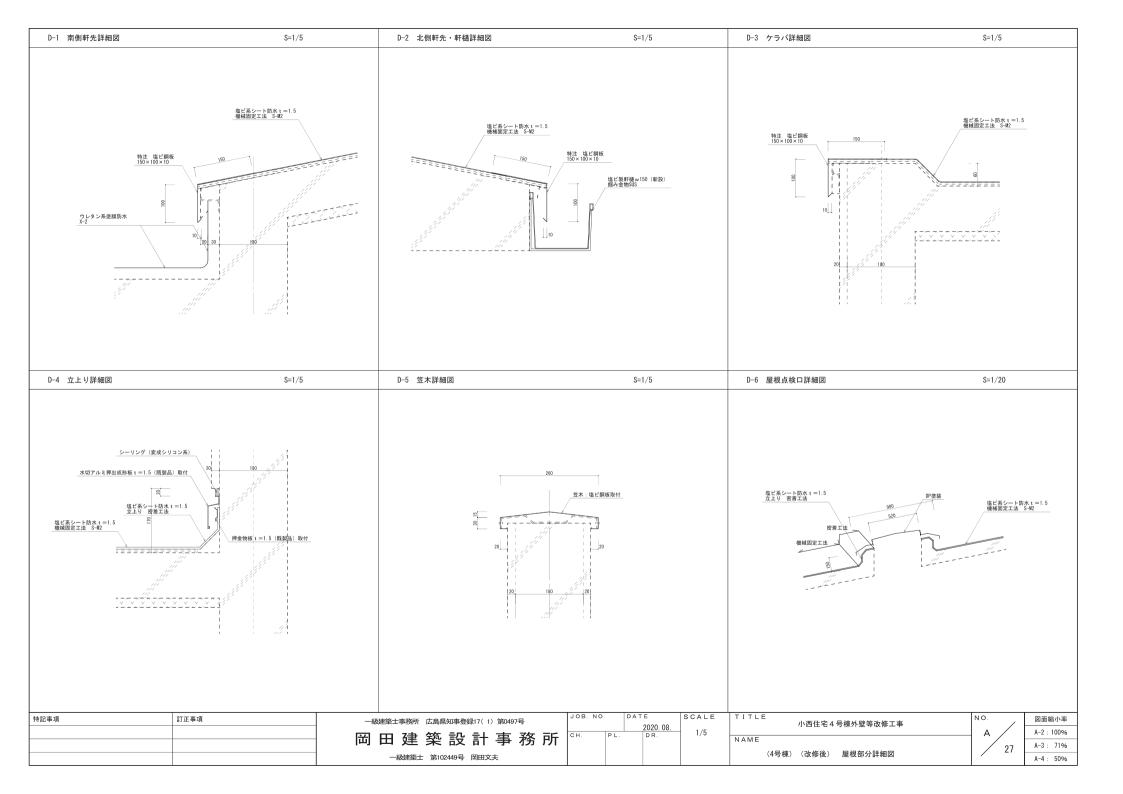


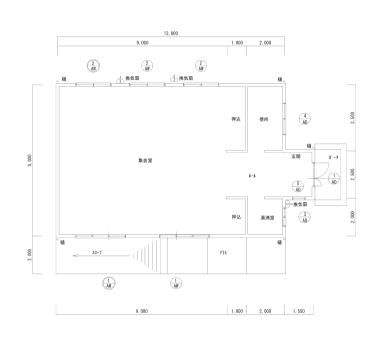












(集会所) 平面図 S=1/100

	符号・名称位置・数量		親子開き植 - 般部	戸 玄関 延焼の恐れある部分	AW .	歯Fix付き 一般部	引達い戸 研集の翌	集会室
	匹甲,数重		1 mx mp	延焼の芯れめる部方	AW -		2年7年07元	ংশ কে ৩ লা স
			1,200		800	70	1,700	
	形状			100	Fix			
				2, 1				
					E:			
					Fix			
	H 65 . 44 L 44 1	B 23	フェミ人を担いる	I ++ DI AA	700	A 40 III	Ell ## D'	6
	材質・仕上・枠! 硝子	nt XA	アルミ合金押出る	型材 BL 60 延焼の恐れある部分	一般部			れある部分
		上部	透明ガラス t=5		透明が	ラス t=5	網入り透	・明 カ ゙ ラス t=6
	金物	下部	型板ガラス t=5 丁番・戸当・ドア	-チェック・シリンタ゛-錠	型 板 が クレセント・	ラス t=5 戸車	網入り型	!板ガラス t=6
	額縁・膳板							
	アングルピース 沓摺							
	備考		ステンレス					
	符号・名称		2 引達い窓 ー sp #g	BL 60 证件の現れなる部分		引達い窓	BL 延伸の現	おおる部分
	位置・数量		- 般部 1	延焼の恐れある部分 2	AD	一般部	延 焼 の 忽	れある部分
			1,700			1, 700		
						_		_
								0
				300	4	-		006
	形状			=				
					ļ ———			
	材質・仕上・枠!	見込		60				6
	硝子	上部	— 般部 透明ガラス t=5	延焼の恐れある部分	一般部透明が	5x t=5		:れある部分 :明ガラス t=6
		下部						
	金物 額縁・膳板		クレセント・戸車		クレセント・	戸車		
	アンク゛ルヒ゛ース							
	沓 摺 備 考							
	順考 符号・名称		引達い窓	BL 60		Fix窓	BL	6
	位置・数量		4 AD 一般部	延焼の恐れある部分		一般部	延焼の恐	れある部分
-			1					
			1, 200		600	_		
						-		
			4	009				006
	形状							36
	112 1A							
					<u> </u>			
	材質・仕上・枠!	見込	AL MI	75 de 10 16 de 11 7 40 7	An en		75 /* ~ ~	6
	硝子	上部	— 般部 透明 ガラス t=5	延焼の恐れある部分	一般部透明が	5% t=5	延 焼 の 習	れある部分
		下部						
	金物 額縁・膳板		クレセント・戸車		クレセント・	戸車		
	耐料率・ 旧 4以 アンク´ルヒ゛ース							
	沓 摺							
	備考 ┃ T I T L E				1	NO.		図面縮小器
			小西住宅4号棟	外壁等改修工事			/	A-2:1009
	NAME					A	/	
			/# A = \ = =	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1 /	28	A-3 : 719
	1		(集会所) 平面	凶、建呉衣			20	A-4 : 509

特記事項	訂正事項

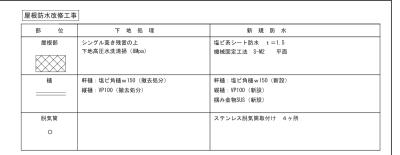
岡田建築設計事務所

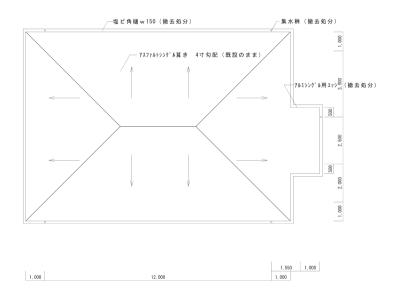
一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号

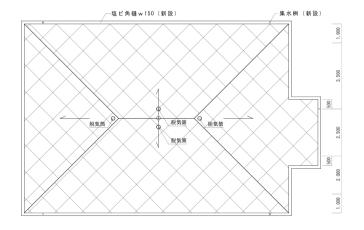
2020.08. 1/50 H. PL. DR. 1/100

DATE

JOB. NO.







1,550 1,000 1,000 12,000 1,000

(改修前)屋根伏図 S=1/100

(改修後)屋根伏図 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号	JOB. NO.	DAT	T E 2020. 08.	SCALE	TITLE	小西住宅4号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率
		岡 田 建 築 設 計 事 務 所	CH.	PL.	DR.	1/100	NAME		A 20	A-2:100% A-3:71%
		一級建築士 第102449号 岡田文夫						(集会所) (改修前・後)屋根伏図	/ 29	A-4 : 50%



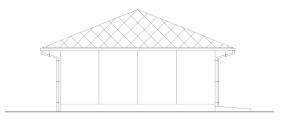
南側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所 広島県知事登録17(1)第0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士 第102449号 岡田文夫

JOB. NO.		DATE		SCALE	
			2020. 08.		
СН.	PL.		DR.	1/100	

TITLE	小西住宅 4 号棟外壁等改修工事	NO.
NAME		A
NAWE	(集会所) 立面図	

図面縮小率

A-2:100%

A-3: 71%

A-4: 50%

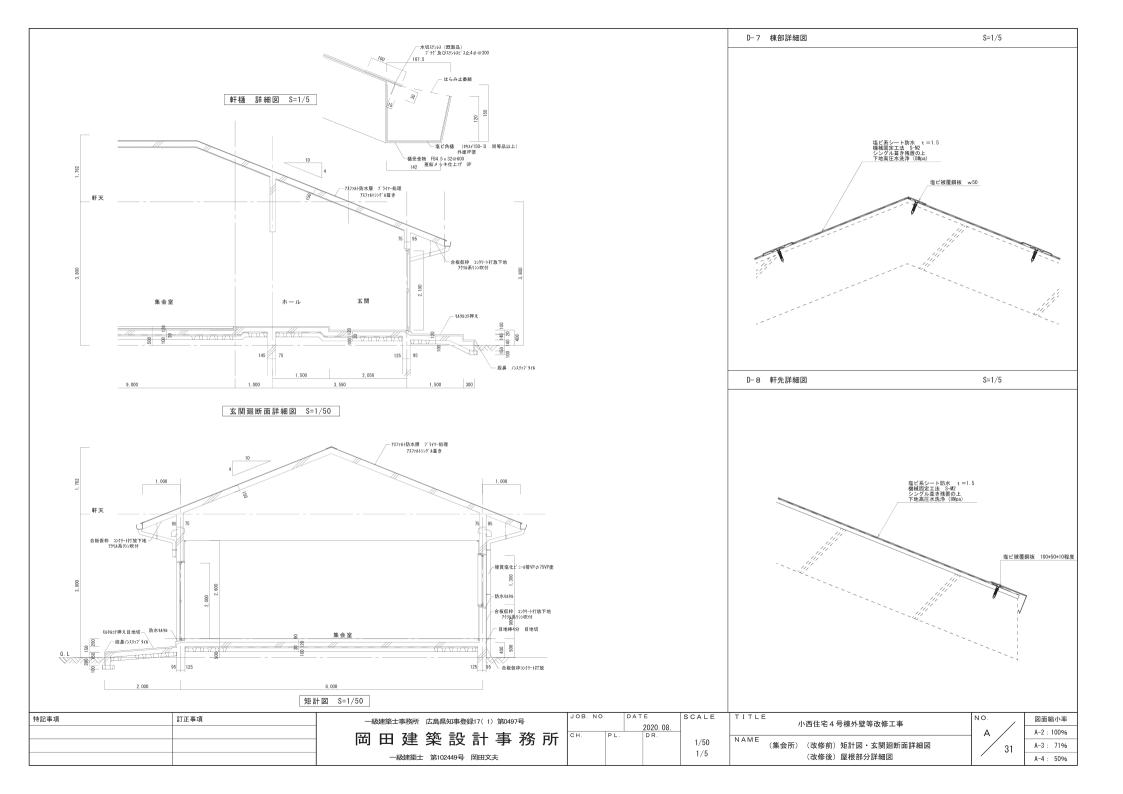
号	部 位	改修前	改 修 後
1	根回り	仕上:コンクリート打放し(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
	依凹り	仕上:モルタル金コテ(高圧水洗浄)	仕上: ハツリ部分モルタル金コテの上複層塗材吹付 (新設)
2	外壁・パラペット	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
۷	軒鼻・バルコニー壁	下地:コンクリート打放し(既設)	
4	軒裏	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)
	¥T农	下地:コンクリート打放し(既設)	
15)	縦樋	塩化ビニールパイプ (撤去処分)	カラーVPφ75に取替、SUS掴み金物共
	軒樋	塩ビ製w150(撤去処分)	塩ビ製軒樋w150に取替、SUS掴み金物共

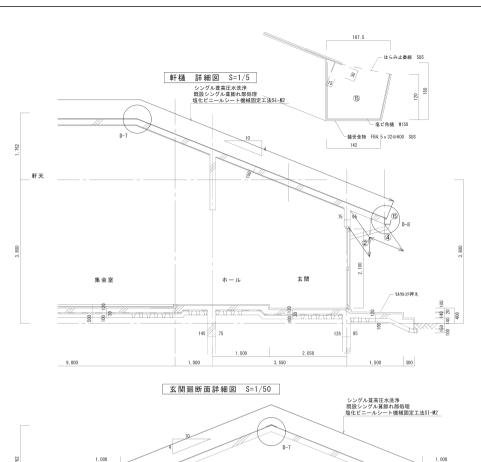
屋根防水改修工事

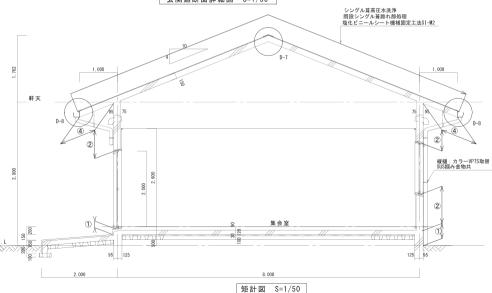
外部改修仕上表

部 位	下 地 処 理	新 規 防 水
屋根部	シングル葺き残雷の上 下地高圧水洗清掃 (BMpa) 立上り部シングル撤去樹脂モルタル薄塗り	塩ビ系シート防水 t=1.5 機械固定工法 S-M2 平面 塩ビ系シート密着工法 立上り

-						
	特	58	事	項		
	・エア	コン	室外	機	壁掛け 3ヶ所 一時移転再取付施工後作動確認	
	・外部建具:建具周囲シーリング打替(共通)					
	, #== 7 D U _ = 1.16 (+ 18)					







一級建築士事務所 広島県知事登録17(1) 第0497号

岡田建築設計事務所
- 級建築士 第102449号 岡田文夫

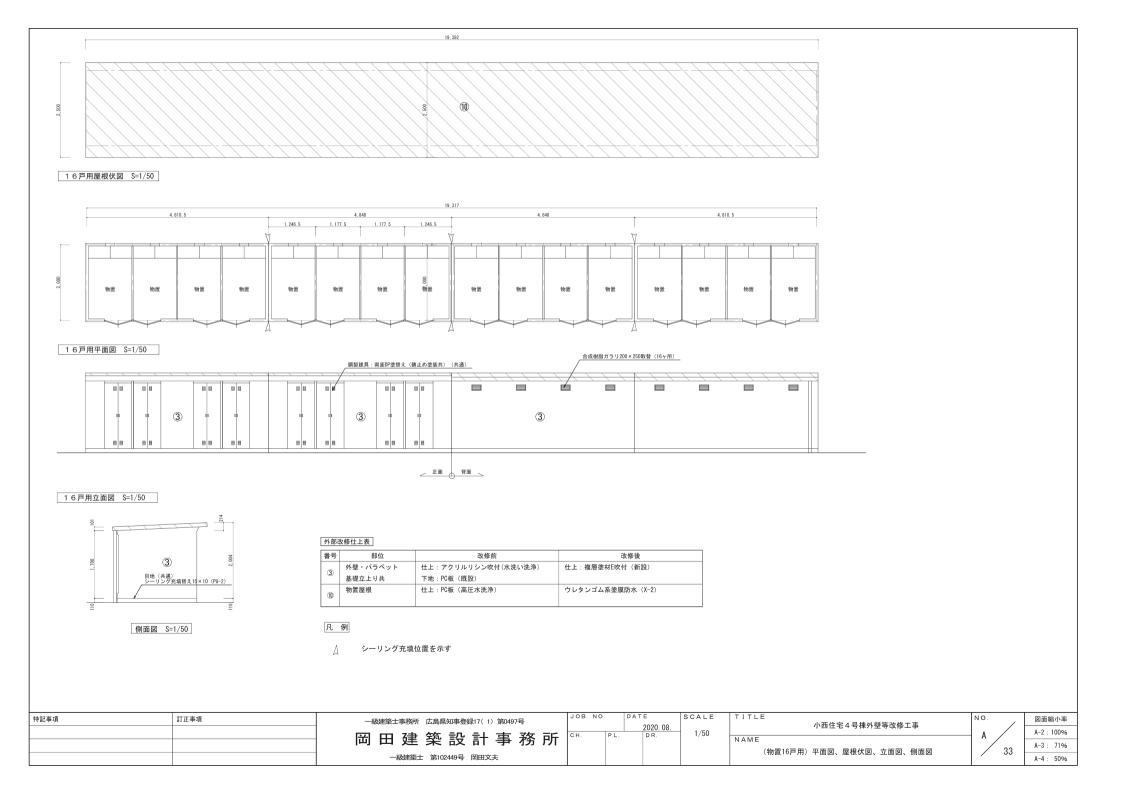
特記事項

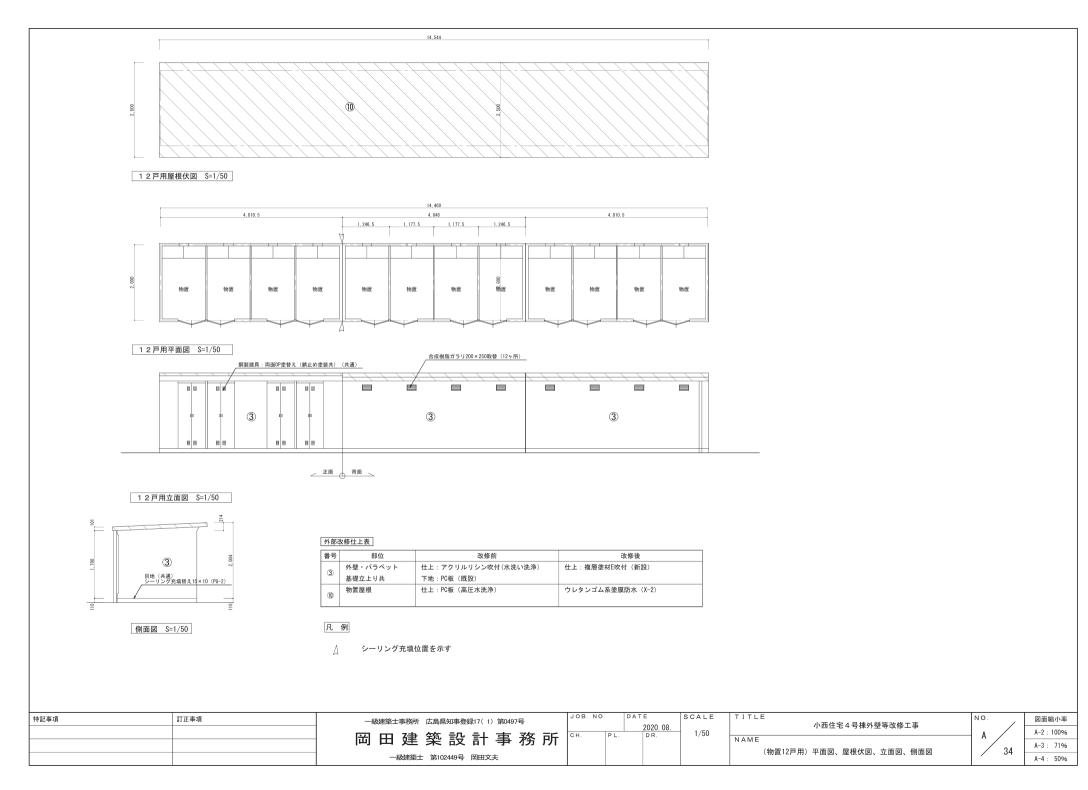
訂正事項

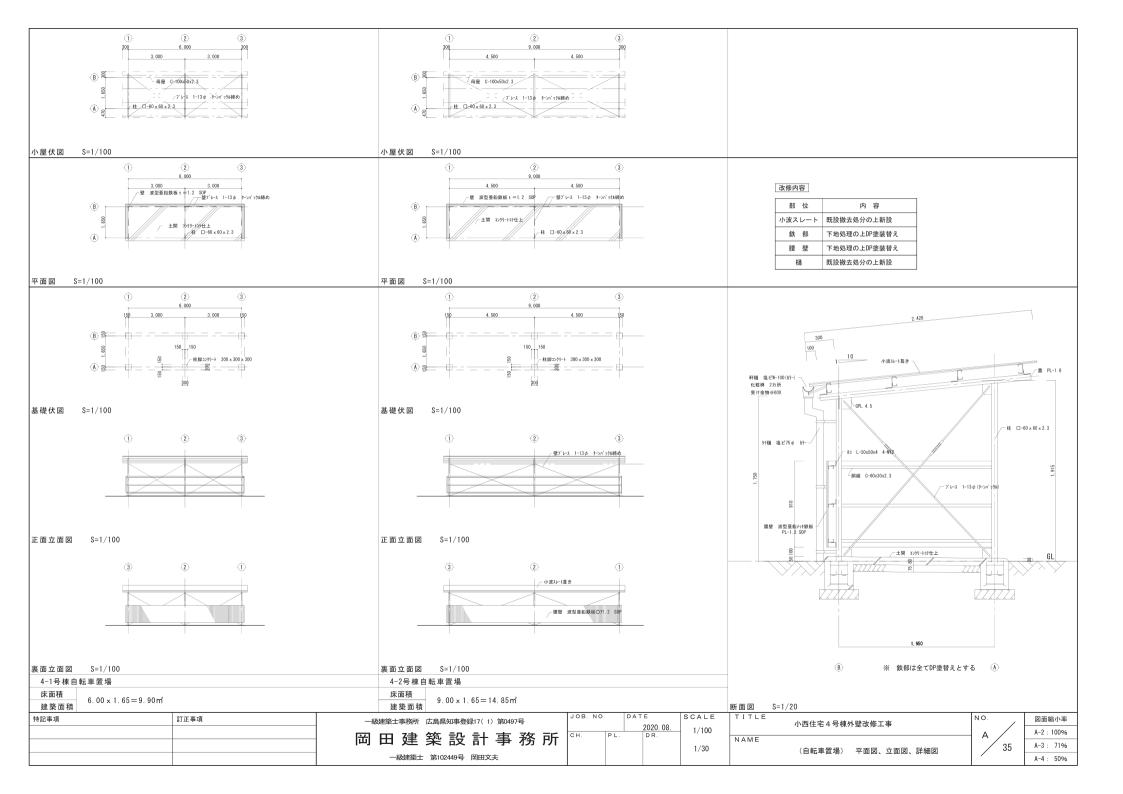
外部改修仕上表

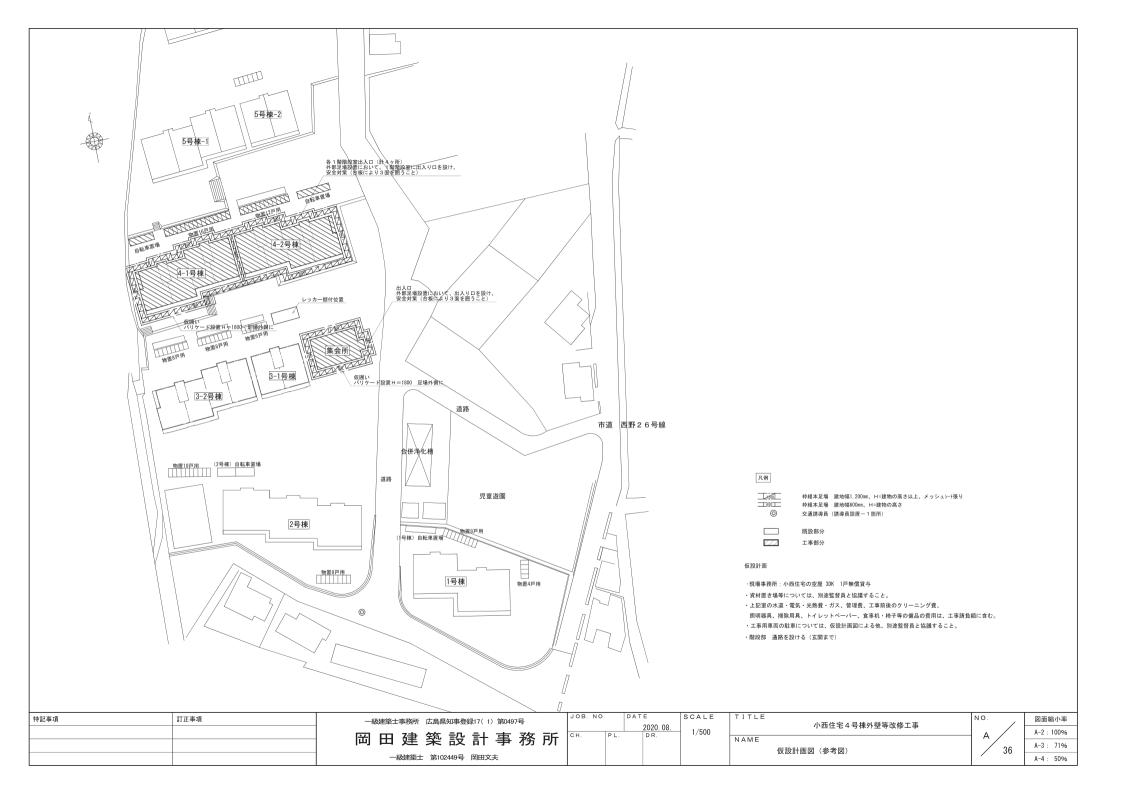
番号	部 位	改修前	改修後					
(1)	根回り	仕上:コンクリート打放し(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付 (新設)					
	1区四 7	仕上:モルタル金コテ(高圧水洗浄)	仕上:ハツリ部分モルタル金コテの上複層塗材吹付 (新設)					
(2)	外壁・パラペット	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)					
~	軒鼻・バルコニー壁	下地:コンクリート打放し(既設)						
4	軒裏	仕上:アクリルリシン吹付(高圧水洗浄)	仕上:複層塗材E吹付(新設)					
	料表	下地:コンクリート打放し(既設)						
(15)	縦樋	塩化ビニールパイプ (撤去処分)	カラーVPφ75に取替、SUS掴み金物共					
	軒樋	塩ビ製w150 (撤去処分)	塩ビ製軒樋w150に取替、SUS掴み金物共					

	JOB. NO.	2020. 08.	SCALE	TITLE	/]	N西住宅 4 号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率 A-2:100%	
•	CH.	L. DR.	1/50 1/5	NAME (集	会所)	(改修後)矩計図、玄関廻断面詳細図	32	A-3 : 71% A-4 : 50%	









参	考	数	量	書	
---	---	---	---	---	--

	<u>参考数量書</u>
工事名称	小西住宅 4 号棟外壁等改修工事
工事場所	三原市西野四丁目
[工事概要]	
用途,構造,面積	共同住宅・鉄筋コンクリート造・床面積 2,108.37㎡
工事範囲	建築主体工事
別途工事	無し
工期	契約締結日の翌日 ~ 令和3年3月22日
一般事項	
《工事予算内訳》	合 計 金 額
〈内 訳〉	
区 分	金 額 概 要
設計金額	
消費税額	
合 計 金 額	

工事費内訳 1

		T						
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接工事費								
建築工事								
			1	式				
計								
共通費								
共通仮設費								
			1	式				
現場管理費			1	-4-				
一般管理費			1	式				
契約保証費				式				
			1	式				
計								
工事価格			1					
冰			1	式				
消費税等相当額			1	式			消費税率 10 %	
工事費			1					
				式				

名	称	数	量	単位	金	 額	備	考
基築工事			1	式				
計								

建築工事 種目別内訳

2

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
1号棟			1					
-2号棟			1	式				
- 2 万 (宋			1	式				
会所			1	八				
71			1	式				
計								

4-1号棟					
名称	数量	単位	金額	備	考
外壁改修工事	1				
	1	式			
屋根防水改修工事	1				
ベランダ防水工事		式			
	1	式			
物置屋根、外壁改修工事	1				
de des de 100 10 of the sec str	1	式			
自転車置場改修工事	1				
手すり等改修工事		式			
	1	式			
竪樋、軒樋取替工事	1				
<u> </u>	1	式			
<u>™</u>					

4-2号棟								
名	称	数	量	単 位	金	額	備	考
外壁改修工事			1					
			1	式				
屋根防水改修工事			1					
ベランダ防水工事				式				
			1	式				
物置屋根、外壁改修工事			-	10				
			1	式				
自転車置場改修工事			1					
手すり等改修工事				式				
			1	式				
竪樋、軒樋取替工事				八				
			1	式				
11h								

建築工事 科目別内訳

集会所								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
壁改修工事			1					
是根防水改修工事				式				
			1	式				
極、軒樋取替工事			1					
計				式				
口								

4-1号棟							
科目名称	中科目名称	数量	単 位	金	額	備	考
外壁改修工事	直接仮設工事	1					
		1	式				
外壁改修工事	外部改修工事	1					
外壁改修工事	撤去工事		式				
外型以修工 事	1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100	1					
】 計			式				
屋根防水改修工事	直接仮設工事	,					
		1	式				
屋根防水改修工事	屋根防水改修工事	1					
日41711111111111111111111111111111111111	A B T T	1	式				
屋根防水改修工事	金属工事	1					
屋根防水改修工事	塗装工事		式				
(A)	主 双工 *	1	式				
屋根防水改修工事	撤去工事		1人				
		1	式				
計							
> > > > > > > > > > > > > > > > > > >							
ベランダ防水工事	直接仮設工事	1					
ベランダ防水工事	防水工事		式				
/	153X-12-4	1	<u></u>				
当			式				
物置屋根、外壁改修工事	直接仮設工事	1					
		1	式				
物置屋根、外壁改修工事	外部改修工事	1					
			式				

					•
4	-	\Box	1.——·		
/1	_ 1		T III		

4-1	由 彩 日 夕 秋	*** - 具	出生	A 155	
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
物置屋根、外壁改修工事	撤去工事	1			
31		_	式		
計					
自転車置場改修工事	直接仮設工事	1			
		1	式		
自転車置場改修工事	外部改修工事	1			
		1	式		
自転車置場改修工事	塗装工事	1			
		1	式		
自転車置場改修工事	撤去	4			
		1	式		
計					
手すり等改修工事	改修工事				
		1	式		
手すり等改修工事	撤去工事				
		1	式		
計					
竪樋、軒樋取替工事	改修工事				
		1	式		
竪樋、軒樋取替工事	塗装工事		1		
		1	式		
竪樋、軒樋取替工事	撤去工事		I		
		1	式		
			II,		

_			-		 	 _
		1.4				
/	1ーソモ	一下由				

4-2 亏 悚					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外壁改修工事	直接仮設工事	1	-t-		
外壁改修工事	外部改修工事		式		
D PS-12-16/17 古	松十丁亩	1	式		
外壁改修工事	撤去工事	1	式		
計			X		
屋根防水改修工事	直接仮設工事	1			
屋根防水改修工事	屋根防水改修工事	1	式		
屋根防水改修工事	金属工事	1	式		
<u> </u>	並馬上尹	1	式		
屋根防水改修工事	塗装工事	1			
屋根防水改修工事	撤去工事	1	式		
計			式		
ベランダ防水工事	直接仮設工事	1			
ベランダ防水工事	防水工事		式		
<u>≒</u> +		1	式		
司					
物置屋根、外壁改修工事	直接仮設工事	1	_b		
物置屋根、外壁改修工事	外部改修工事	1	式		
		1	式		

4-2号棟

4-2 万保		V44			110
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
物置屋根、外壁改修工事	撤去工事	1			
		1	式		
計					
自転車置場改修工事	直接仮設工事	1			
		1	式		
自転車置場改修工事	外部改修工事	1			
			式		
自転車置場改修工事	塗装工事	1			
d +++ ++ III [7]	leter,l.,		式		
自転車置場改修工事	撤去	1			
<u> </u>			式		
計					
手すり等改修工事	改修工事				
手りり寺以修工事	以修工事	1			
手すり等改修工事	撤去工事		式		
子りり寺以修工争	1版云上事	1			
<u></u>			式		
B1					
竪樋、軒樋取替工事	改修工事				
下版, UMW U T 4	30 - F	1			
竪樋、軒樋取替工事	塗装工事		式		
		1	_ <u></u>		
竪樋、軒樋取替工事	撤去工事		式		
		1	-		
計			式		

_	_	_		_	
∕⊨	⊨		머	-	
ᅩ	ᄨ	_	尸广		

集会所						
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備	考
外壁改修工事	直接仮設工事	1				
		1	式			
外壁改修工事	外部改修工事	1				
	life to make	1	式			
外壁改修工事	撤去工事	1				
計			式			
ĒΤ						
屋根防水改修工事	直接仮設工事					
		1	式			
屋根防水改修工事	屋根防水改修工事	1				
		1	式			
屋根防水改修工事	金属工事	1				
		1	式			
計						
竪樋、軒樋取替工事	改修工事					
		1	式			
竪樋、軒樋取替工事	撤去工事	1				
		1	式			
計						

4-1号棟			外壁改修	下工事				直接仮設工事				
名称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
養生	外部改修			244	m²							
整理清掃後片付け				244	m²							
外部足場	幅1200			897	m²							
外部足場	幅600			116	m²							
安全手すり				88. 3	m							
階段足場				84. 2	m²							
養生シート				883	m²							
開口部養生	窓廻り			204	m²							
出入口養生	合板張り			27. 4	m²							
バリケード				76. 2	m							
計												

4-1号棟			外壁改修	下 工事				外部改修工事				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
劣化部分改修	ひび割れ B-1			4	m							
劣化部分改修	モルタル浮き			4	m²							
劣化部分改修	打放し面・錆鉄筋 C-1			4	m²							
根回り高圧水洗浄	既存モルタル面			49. 6	m²							
壁高圧水洗浄	既存もルタル面			127	m²							
壁高圧水洗浄	既存打放し面			1, 125	m²							
上裏 高圧水洗浄	既存打放し面			316	m²							
防水改修面 高圧水洗浄	既存防水モルタル面			49	m²							
壁ケルン清掃	既存もルタル面 塗装面			127	m²							
下地処理	鋼製建具			122	m²							
下地処理	分電盤等			2. 6	m²							
下地処理	細幅物 電気配管等			16. 7	m							
カ、ラスクリーニンク、				159	m²							
塗膜防水	ウレタンゴム系 X-2			49	m²							
外壁目地シーリン グ	15×10 PU-2			328	m							

4-1号棟			外壁改修	※工事				外部改修工事				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
建具周囲シーリング	10×10 MS-2			575	m							
EXP・Jシーリンク*	50×20 PU-2			6. 9	m							
DP塗装	鋼製建具面			122	m²							
DP塗装	鉄部面			2.6	m²							
DP塗装	鉄部面 細幅物			16. 7	m							
複層塗材E吹付	打放面			1, 423	m²							
複層塗材E吹付	モルタル面			127	m²							
階段表示板	SK600A			8	か所							
室名札	SK-600AW-2			16	か所							
棟番号表示	鋼製 t=9.0 DP 600×	300		1	か所							
エアコン室外機	一時移転再取付 施工	後作動確認		12	か所							
既存BSアンテナ	一時移転再取付			4	か所							
計												

4-1号棟		外壁改修	下工事				撤去工事				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
シーリング・撤去				910	m						
既存階数表示板撤 去				8	か所						
既存室名札撤去				16	か所						
棟番号表示撤去	鋼製T=9.0 SOP 600×;	300 積込共		1	か所						
発生材運搬	プ゚ラスチック 積込共			236	kg						
発生材処分	プ゜ラスチック			236	kg						
計					Kg						

4-1号棟			屋根防水	、改修工	事			直接仮設工事				
名 称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
養生	屋根防水改修			329	m²							
整理清掃後片付け	屋根防水改修			329	m²							
計												

4-1号棟			屋根防水	改修工	事		屋根防水改修工事				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
屋根 高圧水洗浄	8Mpa 既存シングル葺き面			299	m²						
床 高圧水洗浄	8Mpa 既存シングル葺き撤			27. 3	m²						
立上り 高圧水洗 浄	8Mpa 既存シングル葺き擶			11. 2	m²						
屋根 塩ビシート 防水	厚1.5 機械固定工法	S-M2		299	m²						
立上り 塩ビシー ト 防水 塗膜防水	厚1.5 密着工法			2.8	m²						
	X-2 ウレタンゴム系			35. 7	m²						
脱気筒	ステンレス製			4	か所						
防水押え金物	厚1.5 既製品			11. 4	m						
防水見切シーリング	MS-2 15×10			11. 4	m						
床 樹脂モルタル塗り	撤去跡補修			27. 3	m²						
壁 樹脂モルタル塗り	撤去跡補修			8. 4	m²						
∄ †											

4-1号棟	4-1号棟				事			金属工事				
名 称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
改修用ドレイン	100φ 竪型			4	か所							
軒先水切金物	特注塩ビ鋼板 150×1			52. 3	m							
クラバ水切金物	特注塩ビ鋼板 150×1	00×10		34. 1	m							
屋根防水見切	厚1.5 水切7///押出成)	形板(既製品		11. 4	m							
笠木	特注塩ビ鋼板 幅260	(糸幅360)		2	m							
計					111							

4-1号棟			屋根防水	改修工具				塗装工事			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
DP塗装	鉄部面			2. 2	m²						
下地処理	屋上点検口			2. 2	m²						
計											

4-1号棟			屋根防水改	修工	F			撤去工事			
名称	摘	要	数量	型. 型.	単位	単	価	金	額	備	考
屋根立上りシングル 葺き撤去				2.8	m²						
防水下地モルタル撤去				35. 7	m²						
防水押え金物撤去				11. 4	m						
シーリンク゛撤去				11. 4	m						
ルーフト・レイン撤去				4	か所						
発生材運搬	プラスチック 積込共			0. 01	m3						
発生材処分	プ・ラスチック			12	kg						
スクラップ	鉄くず			47. 1							
======================================					kg						

生来工事 / 4-1号棟			ベランタ	ず防水工	事			直接仮設工	事		
名 称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生	屋根防水改修			156	m²						
整理清掃後片付け	屋根防水改修			156	m²						
計											

4-1号棟			ベランダ	防水工	事			防水工事			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
防水改修面 高圧 水洗浄	既存防水モルタル面			178	m²						
塗膜防水	ポリマーセメント系			178	m²						
計											

4-1号棟			物置屋根、	外壁	收修工事			直接仮設工	.事		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生	外壁改修			85. 8	m²						
整理清掃後片付け	外壁改修			85. 8	m²						
外部足場	脚立足場			50. 6	m²						
養生シート				91. 1	m²						
開口部養生	窓廻り			20. 2	m²						
ハ゛リケート゛				101	m						
計					111						

4-1号棟			物置屋根、外壁	造改修工事	1		外部改修工	事		
名 称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
屋根 高圧水洗浄			56. 3	3 m²						
壁高圧水洗浄	8Mpa 既存PC板面		58. 2							
下地処理	鋼製建具		60.7							
塗膜防水	X-2 ウレタンゴム系		56.							
外壁目地シーリング	PU-2 15×10		35. 2							
DP塗装	鋼製建具面		60.7							
複層塗装E吹付	モルタル面		58. 2							
換気ガラリ	合成樹脂製 200×250		16	か所						
計				777)						

4-1号棟			物置屋根、	外壁				撤去工事			
名	· 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
シーリング・撤去				35. 2	m						
既存換気ガラリ撤せ				16	か所						
発生材運搬	プ ラスチック 積込共			50	kg						
発生材処分	プ。ラスチック			50	kg						
計					0						

4-1号棟			自転車置	場改修	工事			直接仮設工	事		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生	外壁改修			16	m²						
整理清掃後片付け	外壁改修			16	m²						
外部足場	脚立足場			16	m²						
ハ゛リケート゛				18	m						
計											

4-1号棟			自転車置	場改修	工事			外部改修工	.事		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
屋根小波スレート葺き				16	m²						
軒樋	カラー塩ビ製100φ半円	樋受金物共		6.6	m						
集水器	カラー塩ビ製100φ半円♬	Ħ		2	か所						
竪樋	カラー塩ビ製75φ樋掴み	金物共		3. 7	m						
計					111						

	自転車置場改	修工事		塗装工事			
要	数量	単位	単 価	金	額	備	考
	56	m²					
	56						
		自転車置場改 要 数 量 56	自転車置場改修工事	自転車置場改修工事 要数量単位単価 56 m² 56	自転車置場改修工事 塗装工事 要数量单位单価金 56 56	自転車置場改修工事 塗装工事 要数量単位単価金額 56 m²	自転車置場改修工事 塗装工事 要数量単位単価金額 56 m²

4-1号棟	<u>ин н // 11 1 г/ (</u>		自転車置	場改修	工事			撤去			
	东 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
屋根スレート葺き撤				16	m²						
軒樋撤去	塩ビ製100φ(半円)			6.6	m						
竪樋撤去	塩ビ製75φ			3. 7	m						
発生材運搬	プラスチック 積込共			18	kg						
発生材運搬	スレート 積込共			266	kg						
発生材処分	プ [°] ラスチック			18	kg						
発生材処分	スレート			266	kg						
計					ng						

<u> жын н уулган г</u>		手すり等	萨改修工	事			改修工事			
· 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
鋼製手すり			129	m²						
隔板枠			11. 7							
物干金物			3. 6							
吊金物			4							
棟番号表示			1							
鋼製手すり			129							
隔板枠			11. 7							
物干金物			3. 6							
吊金物			4							
棟番号表示			1							
ケイカル板面			33. 7							
厚5.0 ケイカル板			16. 9							
			24							
				W-121						
	 病板枠 物干金物 根番号表示 鋼製手すり 隔板枠 物干金物 根番号表示 カイル板面 	 病機手すり 隔板枠 物干金物 根番号表示 鋼製手すり 隔板枠 物干金物 Rを物 内体 特番号表示 プイカル板面 	手すり等 新期製手すり 隔板枠 物干金物 Rach 中番号表示 調製手すり 隔板枠 物干金物 内金物 特番号表示 特本の 中本の	(本) (有) 要 数 量 鋼製手すり 129 隔板枠 11.7 物干金物 3.6 吊金物 4 棟番号表示 1 調製手すり 129 隔板枠 11.7 物干金物 3.6 吊金物 4 棟番号表示 1 ケイカル板面 33.7 厚5.0 ケイカル板 16.9	手すり等改修工事	手すり等改修工事 X 摘 要 数量 単位 単 鋼製手すり 129 ㎡ 物干金物 3.6 ㎡ 吊金物 4 か所 標番号表示 1 か所 隔板枠 11.7 ㎡ 物干金物 3.6 ㎡ お子金物 4 か所 標番号表示 1 か所 株番号表示 1 か所 クイル板面 33.7 ㎡ 厚5.0 ケイル板面 16.9 ㎡ 24 24	手すり等改修工事 X 類製手すり I29 m² 隔板枠 11.7 物干金物 3.6 吊金物 4 排番号表示 1 扇板枠 11.7 胸型手すり 129 隔板枠 11.7 物干金物 3.6 吊金物 4 か所 株番号表示 1 か所 ケイルル板面 33.7 m² 厚5.0 ケイカル板面 16.9 m² 24	手すり等改修工事 改修工事 改修工事 次	手すり等改修工事 改修工事 改修工事 大 摘 要 数 量 単位 単 価 金 額 鋼製手すり 129 m²	事子中9等改修工事 改修工事 K 要 数 量 単位 単価 金額 備 解數手中9 11.7 m² 11.7 m² 杨十全物 3.6 m² 2 2 麻蚕物 4 力所 2 2 2 解數手中9 129 m² 2 2 2 2 2 屬板枠 11.7 m² 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2

4-1号棟			手すり等	₽ 改修工				撤去工事				
名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
既存ケイカル板					16. 9	m²						
発生材運搬		不燃ボード 積込共			0.08							
発生材処分		不燃ボード			8.8	kg						
計						J						

4-1号棟			竪樋、軒	樋取替	工事			改修工事				
名 称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
軒樋	カラー塩ビ製 幅150			26. 4	m							
塩ビ角樋用集水桝				4	か所							
縦樋	カラー塩ビ製 VP100φ			99	m							
保護管	SGP125A L1600			4	か所							
計					731							

4-1号棟			竪樋、車	F樋取替	工事			塗装工事				
	が 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
P塗装	鋼管面			33. 7								
計					m²							

4-1号棟			竪樋、車	F樋取替	工事			撤去工事			
名称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
軒樋撤去	塩ビ製 幅150			26. 4	m						
縦樋撤去	塩ビ製 100φ			99	m						
保護管撤去	SGP125A L1600			4	か所						
発生材運搬	プ [°] ラスチック			422	kg						
発生材処分	プ [°] ラスチック			422	kg						
スクラップ	鉄くず			89	kg						
計					ng						

4-2号棟			外壁改修	江事				直接仮設工	事		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生	外部改修			222	m²						
整理清掃後片付け	外壁改修			222	m²						
外部足場	幅1200			661	m²						
外部足場	幅600			75	m²						
安全手すり				88. 1	m²						
階段足場				62. 6	m²						
養生シート				544	m²						
開口部養生	窓廻り			153	m²						
出入口養生	合板張り			27. 4	m²						
バリケード				68. 7	m²						
計											

4-2号棟	<u> Н Н ЛЛ 1 1 Д (</u>		外壁改修	下工事							
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
劣化部分改修	ひび割れ B-1			3	m						
劣化部分改修	モルタル浮き・モルタル斫り・	モルタルこて		10	m²						
劣化部分改修	打放し面・錆鉄筋 C-	-1		2. 5	m²						
根回り高圧水洗浄	既存もルタル面			49. 6	m²						
壁高圧水洗浄	既存もルタル面			83. 4	m²						
壁高圧水洗浄	既存打放し面			877	m²						
上裏 高圧水洗浄	既存打放し面			236	m²						
防水改修面 高圧水洗浄	既存防水モルタル面			36. 5	m²						
壁 ケレン清掃	既存モルタル面 塗装面			83. 4	m²						
下地処理	鋼製建具			92	m²						
下地処理	分電盤等			3	m²						
下地処理	細幅物 電気配管等			23. 2	m						
カ゛ラスクリーニンク゛				119	m²						
塗膜防水	ウレタンゴム系 X-2			36. 5	m²						
外壁目地シーリング	15×10 PU-2			252	m						

4-2号棟			外壁改修	※工事							
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
建具周囲シーリング	10×10 MS-2			432	m						
EXP・Jシーリンク*	50×20 PU-2			6. 9	m						
DP塗装	鋼製建具面			91. 7	m²						
DP塗装	鉄部面			3	m²						
DP塗装	鉄部面 細幅物			23. 2	m						
複層塗材E吹付	打放面			1, 113	m²						
複層塗材E吹付	モルタル面			83. 4	m²						
階段表示板	SK600A			3	か所						
室名札	SK-600AW-2			6	か所						
棟番号表示	鋼製 t=9.0 DP 600×30	0		1	か所						
物干し金物				1	か所						
エアコン室外機	一時移転再取付 施工後	作動確認		11	か所						
既存BSアンテナ	一時移転再取付			3	か所						
計					//1						

4-2号棟	WH H 23 11 1 H/C		外壁改修	 下事				撤去工事			
名	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
シーリングが撤去				691	m						
既存階数表示板撤去	Ť			3	か所						
既存室名札撤去				6	か所						
棟番号表示撤去	鋼製T=9.0 SOP 600×3	300		1	か所						
発生材運搬	プ゚ラスチック 積込共			184							
発生材処分	プ。ラスチック			184	kg kg						
計					Kg						

4-2号棟	. H H 731 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		屋根防水	改修工	事			直接仮設工	事		
名 称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生	屋根防水改修			329	m²						
整理清掃後片付け	屋根防水改修			329	m²						
計											

4-2号棟			屋根防水	改修工	事			屋根防水改	修工事		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
屋根 高圧水洗浄	8Mpa 既存シングル葺きi			299	m²						
床 高圧水洗浄	8Mpa 既存シングル葺き			27. 3	m²						
立上り 高圧水洗 浄	8Mpa 既存シングル葺きi			11. 2	m²						
屋根 塩ビシート 防水	厚1.5 機械固定工法	S-M2		299	m²						
立上り 塩ビシー ト 防水	厚1.5 密着工法			2. 8	m²						
防水 塗膜防水	X-2 ウレタンゴム系			35. 7	m²						
脱気筒	ステンレス製			4	か所						
防水押え金物	厚1.5 既製品			11. 4	m						
防水見切シーリング	MS-2 15×10			11. 4	m						
床 樹脂モルタル塗り	撤去跡補修			27. 3	m²						
壁 樹脂モルタル塗り	撤去跡補修			8. 4	m²						
計											

4-2号棟	.,		屋根防水	、改修工	事			金属工事			
名 称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
改修用ドレイン	100 φ 竪型			4	か所						
軒先水切金物	特注塩ビ鋼板 150×1			52. 3	m						
クラバ水切金物	特注塩ビ鋼板 150×1	100×10		34. 1	m						
屋根防水見切	厚1.5 水切アルミ押出成)	形板(既製品		11. 4	m						
笠木	特注塩ビ鋼板 幅260	(糸幅360)		2	m						
計					111						

4-2号棟			屋根防水改	修工	į.			塗装工事			
	が 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
DP塗装	鉄部面			2. 2	m²						
下地処理	屋上点検口			2. 2	m²						
計											

4-2号棟			屋根防水	改修工	事			撤去工事			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
屋根立上りシングル 葺き撤去				2.8	m²						
防水下地モルタル撤去				35. 7	m²						
防水押え金物撤去				11. 4							
シーリンク゛撤去				11. 4	m m						
ルーフト・レイン撤去				4	m か所						
発生材運搬	プ ラスチック 積込共			0. 01							
発生材処分	プ。ラスチック			12	kg						
スクラップ	鉄くず			47. 1	kg						
計					ng						

1-2号棟			ベランタ	防水工	事			直接仮設工	.事		
名 称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
逢生	屋根防水改修			117	m²						
理清掃後片付け	屋根防水改修			117	m²						
計					111						

生来工事 			ベランタ	防水工	事			防水工事			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
防水改修面 高圧 水洗浄	既存防水モルタル面			133	m²						
金膜防水	ポリマーセメント系			133	m²						
計											

生菜工事 / 4-2号棟	予棟			、外壁				直接仮設工	.事		
		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生	外壁改修			66. 8	m²						
整理清掃後片付け	外壁改修			66.8	m²						
外部足場	脚立足場			41. 1	m²						
養生シート				74	m²						
開口部養生	窓廻り			15. 2	m²						
バ゙リケート゛				41. 1	m						
計					111						

4-2号棟	•		物置屋根、外壁	改修工事	į.		外部改修工	.事		
名 称	摘	要	数 量	単位	単	価	金	額	備	考
屋根 高圧水洗浄			45. 4	m²						
壁高圧水洗浄	8Mpa 既存PC板面		45. 7	m²						
下地処理	鋼製建具		45. 6	m²						
塗膜防水	X-2 ウレタンゴム系		45. 4	m²						
外壁目地シーリング	PU-2 15×10		28. 4	m						
DP塗装	鋼製建具面		45. 6	m²						
複層塗装E吹付	モルタル面		45. 7	m²						
換気ガラリ	合成樹脂製 200×250		12	か所						
計				77 17 1						

4-2号棟	WH H /3 11 1H/		物置屋根、外壁	改修工事			撤去工事				
名	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考	
シーリング撤去			28. 4	m							
既存換気ガラリ撤去			12	か所							
発生材運搬	プラスチック 積込共		38	kg							
発生材処分	プ [®] ラスチック		38	kg							
計				0							

4-2号棟	株		自転車置	場改修	工事			直接仮設工			
		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生				23. 2	m²						
整理清掃後片付け	外壁改修			23. 2	m²						
外部足場	脚立足場			23. 2	m²						
ハ゛リケート゛				24	m						
11 →											

4-2号棟 名 称 摘 要			自転車置	場改修	工事			外部改修工	[事		
		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
屋根小波スレート葺き				23. 2	m²						
軒樋	カラー塩ビ製100φ半円	樋受金物共		9. 6	m						
集水器	カラー塩ビ製100φ半円角			2	か所						
竪樋	カラー塩ビ製75φ樋掴み	金物共		3. 7	m						
計					111						

4-2号棟		自転車置	量場改修	工事			塗装工事				
名 称	摘 要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
DP塗装	鉄部面		73	m²							
下地処理	鉄部面		73	m²							
計											

4-2号棟			自転車置	場改修	上事			撤去			
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
屋根スレート葺き撤去				23. 2	m²						
軒樋撤去	塩ビ製100φ (半円)			9.6	m						
竪樋撤去	塩ビ製75φ			3. 7	m						
発生材運搬	プラスチック 積込共			24	kg						
発生材運搬	スレート 積込共			366	kg						
発生材処分	プ [°] ラスチック			24	kg						
発生材処分	スレート			366	kg						
計					****						

4-2号棟	名 称 摘 要			收修工	事			改修工事			
名		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
下地処理	鋼製手すり			96. 7	m²						
下地処理	隔板枠			8.8	m²						
下地処理	物干金物			2. 7	m²						
下地処理	吊金物			4	か所						
下地処理	棟番号表示			1	か所						
DP塗装	鋼製手すり			96. 7	m²						
DP塗装	隔板枠			8.8	m²						
DP塗装	物干金物			2. 7	m²						
DP塗装	吊金物			4	か所						
DP塗装	棟番号表示			1	か所						
DP塗装	ケイカル板面			12. 6	m²						
隔板取替え	厚5.0 ケイカル板			12. 6	m²						
避難用ステッカー				18	か所						
物干し金物	新設			1							
計					73-171						
計				1	か所						

4-2号棟	名 称 摘 要			改修工	事			撤去工事			
	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
既存ケイカル板撤去				12.6	m²						
発生材運搬	不燃ボード 積込共			6.6	kg						
発生材処分	不燃ボード			6.6	kg						
計					110						

4-2号棟	名		竪樋、軒	F樋取替	工事			改修工事			
		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
軒樋	カラー塩ビ製 幅150			26. 4	m						
塩ビ角樋用集水桝				4	か所						
縦樋	カラー塩ビ製 VP100 φ			76. 9	m						
保護管	SGP125A L1600 SUS掴	み金物共		4	か所						
計					14 751						

4-2号棟	称 摘 要			竪樋、車	F樋取替	工事			塗装工事			
名			要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
)P塗装	郵	管面			2.8							
計						m²						

4-2号棟			竪樋、軒	樋取替	工事			撤去工事			
名		要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
軒樋撤去	塩ビ製 幅150			26. 4	m						
縦樋撤去	塩ビ製 100φ			76. 9	m						
保護管撤去	SGP125A L1600			4	か所						
発生材運搬	プ [®] ラスチック			352	kg						
発生材処分	プ [°] ラスチック			352	kg						
スクラップ	鉄くず			89	kg						
計					ng						

集会所			外壁改修	5工事				直接仮設工	事		
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
養生	外部改修			82. 4	m²						
整理清掃後片付け	外壁改修			82. 4	m²						
外部足場	幅1200			163	m²						
安全手すり				48	m						
養生シート				163	m²						
開口部養生	窓廻り			21. 3	m²						
出入口養生	合板張り			13. 7	m²						
バリケード				48	m						
計					111						

集会所			外壁改修	外壁改修工事					外部改修工事				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
根回り高圧水洗浄	既存モルタル面			19. 5	m²								
壁高圧水洗浄	既存打放し面			113	m²								
上裏 高圧水洗浄	既存打放し面			52. 3	m²								
カ゛ラスクリーニンク゛				21. 3	m²								
外壁目地シーリング	15×10 PU-2			61.5	m								
建具周囲シーリング	10×10 MS-2			52. 7	m								
複層塗材E吹付	打放面			165	m²								
エアコン室外機 (壁掛け)	一時移転再取付	施工後作動確認		3	か所								
計					14 /21								

集会所				外壁改修	江事				撤去工事					
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
シーリング撤去					114	m								
発生材運搬		プラスチック 積込共			0. 01									
発生材処分		プ [°] ラスチック			28	kg								
計														

集会所	H H /3/11 1H/		屋根防水	:改修工	事			直接仮設工事					
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
養生	屋根防水改修			157	m²								
整理清掃後片付け	屋根防水改修			157	m²								
計													

集会所			屋根防水	改修工	事			屋根防水改修工事					
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
	BMpa 既存シングル葺き面			157	m²								
	厚1.5 機械固定工法 5	5-M2		157	m²								
	ステンレス製			5	か所								
既存シングル葺き面 膨れ部処理				157	m²								
計													

集会所	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		屋根防水	改修工具				金属工事					
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
軒先水切金物	特注塩ビ鋼板	150×100×10		51. 3	m								
棟押え	特注塩ビ鋼板			34. 5	m								
計													

集会所		竪樋、軒	樋取替	工事			改修工事					
名 称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
軒樋	カラー塩ビ製 幅150			51. 3	m							
塩ビ角樋用集水桝				5	か所							
縦樋	カラー塩ビ製 VP75φ			20.8	m							
計												

集会所		竪樋、軒	樋取替	工事			撤去工事					
	游 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
軒樋撤去	塩ビ製 幅150			51.3	m							
縦樋撤去	塩ビ製 75φ			20.8	m							
発生材運搬	プ。ラスチック			254	kg							
発生材処分	プ゜ラスチック			254	kg							
計					Ng .							